

神田みどり保育園 2・3歳保育室 トイレ改修工事

意匠図				
A-01	改修特記仕様書(1)			
A-02	改修特記仕様書(2)			
A-03	改修特記仕様書(3)			
A-04	改修特記仕様書(4)			
A-05	改修特記仕様書(5)			
A-06	改修特記仕様書(6)			
A-07	改修特記仕様書(7)			
A-08	工事概要・付近見取図・配置図	1:200		
A-09	仮設計画図	1:100		
A-10	既存 1階平面図	1:100		
A-11	既存 2階平面図・屋根伏図	1:100		
A-12	仕上表・平面詳細図・展開図・天井伏図	1:50		
A-13	建具表・家具図・部分詳細図	図示		
A-14	劣化図	1:50		
A-15	断面図 【参考図】	1:100		
A-16	既存 立面図(1) 【参考図】	1:100		
A-17	既存 立面図(2) 【参考図】	1:100		

<p>2024.04</p> <p>神田みどり保育園2・3歳保育室トイレ改修工事 特記仕様書</p>	
<p>I 工事概要</p> <p>1. 工事場所 高知市 神田47番地4</p> <p>2. 工事種目 鉄筋コンクリート造 2階建て 延べ面積 539.94m²</p> <p>1) トイレ改修 一式</p> <p>3. 関連工事等 ①電気設備工事 ②機械設備工事 ・ ガス設備工事 ・ 昇降機設備工事 ・ 植栽工事 ・ 合併処理装置設置工事 ・ 外構工事</p> <p>4. 別契約工事 神田みどり保育園外壁等改修工事</p> <p>5. 概成工期 ・ 完成期限の()日 前 (令和 年 月 日)</p> <p>6. 部分使用(工事請負契約書第34条第1項) 令和 年 月 日からは、全ての室内部分を使用する。</p>	
<p>II 建築工事仕様</p> <p>1. 特記仕様</p> <p>1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。</p> <p>2) 特記事項は、①印の付いたものを適用する。②印のつかない場合は、※印の付いたものを適用する。</p> <p>③印と④印の付いた場合は、共に適用する。</p> <p>3) 特記事項に記載の()内表示番号は、「公共建築工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。特記事項に記載の()内表示番号は、「公共建築改修工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。特記事項に記載の()内表示番号は、「建築物解体工事共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p> <p>2. 適用基準等</p> <p>図面及び特記事項に記載されていない事項は、全て国土交通省(建設)大臣官房官庁営繕部監修の以下による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①公共建築工事標準仕様書(建築工事編) (令和4年版) ②公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) (令和4年版) ③建築工事標準詳細図 (令和4年版) ④敷地調査共通仕様書 (令和4年版) ⑤建築物解体工事共通仕様書 (令和4年版) <p>3. 「週休2日制モデル工事」の実施について</p> <p>①対象 (・ 発注者指定型 ②受注者希望型)</p> <p>本工事は、工事着手日から工事完成日までの間の土曜日及び日曜日を現場の休日の基本とする「週休2日制モデル工事」の対象工事である。実施にあたっては高知市「週休2日制モデル工事」実行要領(営繕工事編)による。 (https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/123/syukuhutsuka.html)</p> <p>・対象外(理由:)</p>	
項目	特記事項

項目	特記事項																				
⑩	<p>配置人員の資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1名以上/1班は交通誘導警備業務に係る検定合格者(1級又は2級)を配置する工事。 ※交通誘導に関し、1名以上/1班は専門的な知識及び技能を有する警備員等を配置する工事。 <table border="1"> <tr> <th>資格要件</th> <th>資格要件</th> <th>配置人数</th> </tr> <tr> <td>1, 2級交通誘導警備検定合格者(交通誘導警備員A)</td> <td>交通誘導警備員に、公安委員会が学科及び実施試験を行い、専門的な知識及び技能を有するもの</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>交通誘導に関し、専門的知識及び技能を有する警備員等(交通誘導警備員B)</td> <td>警備業法における指定講習を受講したものの警備業法における基本的基礎教育及び業務別教育(警備業法第2条第1項第2号の警備業務)を現に受けているもので、交通誘導に関する警備業務に従事した期間(実務経験年数)が1年以上であるもの</td> <td>15人</td> </tr> </table> <p>なお、事前に監督職員に検定合格証の写し等の資格要件の確認できる資料を提出する。また、警備員等に変更が生じた場合は、速やかに監督職員に同様の資料を提出する。</p> <p>建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に、工事安全計画書を監督職員に提出する。</p> <p>労働安全衛生法第30条第2項に基づき指名をする。</p> <p>産業廃棄物の運搬、処分等については、1.3.12により適切に処分するものとし、 [1.3.12]</p> <p>事前に監督職員に処理計画書を提出する。産業廃棄物の運搬、あるいは処分を他業者に委託する場合は、書面による委託契約を行い、処理計画書にその写しを添付する。自己処分場で処分する場合は、その処分場が関係法令の規定に適合する旨の資料を提出し、監督職員の現地立会を受けたうえで承諾を得る。(積替・保管についても同様とする)産業廃棄物の収集・運搬に当たっては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(以下廃棄物処理法という)施行令に基づく車両への表示及び書面の備え付けを行うこと。また、産業廃棄物を搬出する車両について、処分場ごとに1台のみ写真撮影(現場搬出時及び処分場到着時)し、随時監督職員に報告する。廃棄物処理法を遵守し、工期内に最終処分(埋立処分、海洋投込処分又は再生)を終了しなければならない。</p> <p>また、産業廃棄物管理票(以下マニフェストという)により適正に処理されていることを確認するとともに、監督職員にそのE票の写しを提出する。ただし、廃棄物処理法を遵守した上で、工期内に産業廃棄物の最終処分を終了することが困難な場合で、監督職員が認める場合においては、工期内に中間処理業者への搬入を終了すればよいものとする。この場合、マニフェストにより適正に中間処理業者へ搬入されていることを確認するとともに、監督職員にそのB2票の写しを提出する。また、最終処分終了後速やかにE票の写しを提出する。なお、廃棄物処理法に定める電子情報処理組織を使用する場合は別途協議する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引渡しを要するもの () ・現場再利用を図るもの () ①再資源化を図るもの (※コンクリート ※コンクリート及び鉄から成る建設資材 ※木材 ※アスファルトコンクリート) <p>特別管理産業廃棄物の施工計画調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ※行う ・ 行わない <p>分析調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ※施工計画調査の結果により、監督職員と協議する。 ・行う () ・ 行わない <table border="1"> <tr> <th>PCBを含む機器類</th> </tr> <tr> <td>・変圧器</td> </tr> <tr> <td>・コンデンサ</td> </tr> <tr> <td>・蛍光灯, HID器具の安定器</td> </tr> <tr> <td>・その他()</td> </tr> <tr> <th>PCB含有シーリング材</th> </tr> <tr> <td>・廃油</td> </tr> <tr> <td>・廃酸 廃アルカリ</td> </tr> <tr> <td>・臭化リチウム水溶液</td> </tr> <tr> <td>・電池の溶解液</td> </tr> <tr> <td>・ダイオキシン類</td> </tr> </table>	資格要件	資格要件	配置人数	1, 2級交通誘導警備検定合格者(交通誘導警備員A)	交通誘導警備員に、公安委員会が学科及び実施試験を行い、専門的な知識及び技能を有するもの	人	交通誘導に関し、専門的知識及び技能を有する警備員等(交通誘導警備員B)	警備業法における指定講習を受講したものの警備業法における基本的基礎教育及び業務別教育(警備業法第2条第1項第2号の警備業務)を現に受けているもので、交通誘導に関する警備業務に従事した期間(実務経験年数)が1年以上であるもの	15人	PCBを含む機器類	・変圧器	・コンデンサ	・蛍光灯, HID器具の安定器	・その他()	PCB含有シーリング材	・廃油	・廃酸 廃アルカリ	・臭化リチウム水溶液	・電池の溶解液	・ダイオキシン類
資格要件	資格要件	配置人数																			
1, 2級交通誘導警備検定合格者(交通誘導警備員A)	交通誘導警備員に、公安委員会が学科及び実施試験を行い、専門的な知識及び技能を有するもの	人																			
交通誘導に関し、専門的知識及び技能を有する警備員等(交通誘導警備員B)	警備業法における指定講習を受講したものの警備業法における基本的基礎教育及び業務別教育(警備業法第2条第1項第2号の警備業務)を現に受けているもので、交通誘導に関する警備業務に従事した期間(実務経験年数)が1年以上であるもの	15人																			
PCBを含む機器類																					
・変圧器																					
・コンデンサ																					
・蛍光灯, HID器具の安定器																					
・その他()																					
PCB含有シーリング材																					
・廃油																					
・廃酸 廃アルカリ																					
・臭化リチウム水溶液																					
・電池の溶解液																					
・ダイオキシン類																					
⑪	<p>⑪ 統括安全衛生管理義務者の指名</p>																				
⑫	<p>⑫ 発生材の処理</p>																				
⑬	<p>⑬ 再生資源利用(促進)計画書及び実施書を、建設副産物情報交換システム(COBRIS)により作成し、提出は以下による。</p> <p>a) COBRISについては、建設副産物情報センターのホームページ(http://www.recycle.jaic.or.jp)より、利用申請等を行うことができる。</p> <p>b) 建設資材の利用量の大小や有無に関らず、紙に出力した再生資源利用計画書及び実施書(建設リサイクルガイドライン様式1)を、完成資料として監督職員に提出する。</p> <p>c) 建設副産物の発生量及び搬出量の大小や有無に関らず、紙に出力した再生資源利用促進計画書及び実施書(建設リサイクルガイドライン様式2)を、完成資料として監督職員に提出する。</p> <p>d) 受注者は再生資源利用(促進)計画書(現場掲示用様式)を工事現場の見やすい場所に掲げること。</p> <p>e) 受注者は作成したデータを含め、再生資源利用(促進)計画書及び実施書を工事完成後5年間保存する。</p>																				
⑭	<p>⑭ 工事の保険</p> <p>工事請負契約後、速やかに工事目的物、工事材料等に生じる損害、第三者に及ぼした損害を補償する保険を締結する。保険期間は、工事着工のときから完成期限より24日後以降までの期間とする。</p> <p>※ 金銭的保証方式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有 ○無 																				
⑮	<p>⑮ 契約保証</p>																				
⑯	<p>⑯ 前払金支出割合区分補正</p>																				
⑰	<p>⑰ 証明書の提出(グリーン購入法)</p> <p>「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(グリーン購入法)及び「高知県グリーン購入基本方針及び実施計画」に基づき、重点調達品目については、積極的に利用すること。なお、重点調達品目の中で木材・木材製品等においては、その原料とされる原木が生産された国における森林に関する法律に照らして合法なものを使用する。木材・木材製品等については、県産木材納入証明書、県外産合法木材納入証明書を監督職員に提出すること。 [1.4.2]</p>																				
⑱	<p>⑱ 石綿含有建材の調査</p> <p>事前調査の報告 一定規模以上の工事は労働基準監督署と高知市に報告が必要となる [1.5.1]</p> <p>事前調査範囲 ※ 改修範囲</p> <p>貸与資料 ※ 有 (○既存の設計図書 ○石綿含有分析調査報告書(天井・石膏ボード)含有無) ・ 無</p> <p>分析調査 ※ 書面調査及び現地での目視調査の結果により、監督職員と協議する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○行う (調査建材使用部位: 壁 調査建材名: 石膏ボード 検体数: 1) 分析方法 ※ 定性分析 定性分析の結果により、定量分析を行う場合は監督職員と協議する。 																				

項目	特記事項																																						
19	<p>19 施工数量調査</p> <p>調査範囲 ※ 図示 ・ 改修建物の外壁、軒天、パラペット [1.6.2]</p> <p>調査方法 ※ 外部足場を使用した目視及び打診</p> <p>破壊部分の補修方法 ※ 現状に復旧</p> <p>外壁調査は、外壁改修フローに対する外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ及び雨漏りの有無についての位置及び数量(幅、長さ、面積)の調査を行う。また、その調査の結果を立面図等に記載し集計表を添えて電子データと共に、監督職員に報告する。(必要に応じて写真等を添付する)</p> <p>※ 適用する (○:1級, ●:2級) [1.7.2][1.7.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>工事種別</th> <th>技能検定の作業の種別</th> </tr> <tr> <td>・仮設工事</td> <td>※●とび作業(又は足場組立作業主任者)</td> </tr> <tr> <td>・鉄筋工事</td> <td>※○鉄筋組立て作業</td> </tr> <tr> <td>・コンクリート工事</td> <td>・○コンクリート圧送工事作業 ・○型枠工事作業</td> </tr> <tr> <td>・鉄骨工事</td> <td>※●とび作業</td> </tr> <tr> <td>・ブロック・ALCパネル工事</td> <td>・○コンクリートブロック工事作業 ・(単一)エーエルシーパネル工事作業</td> </tr> <tr> <td>①防水工事</td> <td>・○アスファルト防水工事作業 ・○ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・○アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・○合成ゴムシート防水工事作業 ・○塩化ビニルシート防水工事作業 ・○セメント系防水工事作業 ○○シーリング防水工事作業 ・○改良アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・○FRP防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>・石工事</td> <td>※○石張り作業</td> </tr> <tr> <td>・タイル工事</td> <td>※○タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>・木工事</td> <td>※○大工工事作業</td> </tr> <tr> <td>・屋根及びびとい工事</td> <td>・○かわらぶき ・●スレート工事作業 ・○内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>①金属工事</td> <td>○鋼製下地工事作業 ・(単一)金属製バルコニー工事作業</td> </tr> <tr> <td>・左官工事</td> <td>※○左官作業</td> </tr> <tr> <td>①建具工事</td> <td>・○ビル用サッシ施工作業 ○○木製建具製作 ○○ガラス工事作業</td> </tr> <tr> <td>・カーテンウォール工事</td> <td>※○金属製カーテンウォール工事作業</td> </tr> <tr> <td>①塗装工事</td> <td>※○建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>①内装工事</td> <td>○○プラスチック系床仕上げ工事作業 ・○壁装作業 ・●カーペット系床仕上げ工事作業 ・○畳装作業 ○○ボード仕上げ工事作業</td> </tr> <tr> <td>・植栽工事</td> <td>※○造園工事作業</td> </tr> <tr> <td>①その他</td> <td>○○樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事)又は(単一)樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事) ・○家具手加工作業</td> </tr> </table> <p>適用する技能士について、当該資格を有することが確認できる書類及び資格者が特定できる書類(運転免許証等)の写しを提出する。</p>	工事種別	技能検定の作業の種別	・仮設工事	※●とび作業(又は足場組立作業主任者)	・鉄筋工事	※○鉄筋組立て作業	・コンクリート工事	・○コンクリート圧送工事作業 ・○型枠工事作業	・鉄骨工事	※●とび作業	・ブロック・ALCパネル工事	・○コンクリートブロック工事作業 ・(単一)エーエルシーパネル工事作業	①防水工事	・○アスファルト防水工事作業 ・○ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・○アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・○合成ゴムシート防水工事作業 ・○塩化ビニルシート防水工事作業 ・○セメント系防水工事作業 ○○シーリング防水工事作業 ・○改良アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・○FRP防水工事作業	・石工事	※○石張り作業	・タイル工事	※○タイル張り作業	・木工事	※○大工工事作業	・屋根及びびとい工事	・○かわらぶき ・●スレート工事作業 ・○内外装板金作業	①金属工事	○鋼製下地工事作業 ・(単一)金属製バルコニー工事作業	・左官工事	※○左官作業	①建具工事	・○ビル用サッシ施工作業 ○○木製建具製作 ○○ガラス工事作業	・カーテンウォール工事	※○金属製カーテンウォール工事作業	①塗装工事	※○建築塗装作業	①内装工事	○○プラスチック系床仕上げ工事作業 ・○壁装作業 ・●カーペット系床仕上げ工事作業 ・○畳装作業 ○○ボード仕上げ工事作業	・植栽工事	※○造園工事作業	①その他	○○樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事)又は(単一)樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事) ・○家具手加工作業
工事種別	技能検定の作業の種別																																						
・仮設工事	※●とび作業(又は足場組立作業主任者)																																						
・鉄筋工事	※○鉄筋組立て作業																																						
・コンクリート工事	・○コンクリート圧送工事作業 ・○型枠工事作業																																						
・鉄骨工事	※●とび作業																																						
・ブロック・ALCパネル工事	・○コンクリートブロック工事作業 ・(単一)エーエルシーパネル工事作業																																						
①防水工事	・○アスファルト防水工事作業 ・○ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・○アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・○合成ゴムシート防水工事作業 ・○塩化ビニルシート防水工事作業 ・○セメント系防水工事作業 ○○シーリング防水工事作業 ・○改良アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・○FRP防水工事作業																																						
・石工事	※○石張り作業																																						
・タイル工事	※○タイル張り作業																																						
・木工事	※○大工工事作業																																						
・屋根及びびとい工事	・○かわらぶき ・●スレート工事作業 ・○内外装板金作業																																						
①金属工事	○鋼製下地工事作業 ・(単一)金属製バルコニー工事作業																																						
・左官工事	※○左官作業																																						
①建具工事	・○ビル用サッシ施工作業 ○○木製建具製作 ○○ガラス工事作業																																						
・カーテンウォール工事	※○金属製カーテンウォール工事作業																																						
①塗装工事	※○建築塗装作業																																						
①内装工事	○○プラスチック系床仕上げ工事作業 ・○壁装作業 ・●カーペット系床仕上げ工事作業 ・○畳装作業 ○○ボード仕上げ工事作業																																						
・植栽工事	※○造園工事作業																																						
①その他	○○樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事)又は(単一)樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事) ・○家具手加工作業																																						
21	<p>21 化学物質の室内濃度の測定</p> <p>化学物質の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、 [1.7.9]</p> <p>報告書を監督職員に提出する。ただし、完成検査前に報告書の提出が困難な場合は、事前に信頼における連報等の資料を監督職員に提出する。この場合、後日に正式な報告書を速やかに監督職員に提出しなければならない。測定する業者の選定にあたっては、あらかじめ監督職員に報告すること。</p> <p>測定方法</p> <p>※ 厚生労働省「室内空気中化学物質の室内濃度指針値及び標準的測定方法について」による。測定対象化学物質</p> <p>※ホルムアルデヒド ※トルエン ※キシレン ※エチルベンゼン ※スチレン ※パラジクロロベンゼン</p> <p>測定箇所 ()箇所 施工前・施工後(計 回測定)</p> <p>測定対象室 ()</p> <p>なお、測定結果が厚生労働省の定める指針値を超えている場合は、原則として本工事の引き渡しを行わないこととする。ただし、次のいずれかに該当する場合は除く。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 何らかの対策が施された結果、揮発性有機化合物の濃度が厚生労働省の定める指針値以下となったことが確認された場合。 2 濃度測定の結果が、本工事の施工により生じたものでないことが明確である場合。 3 濃度測定が、使用開始後(備品の搬入等を含む)に行われた場合。 <p>本工事の引き渡し後、あるいは、使用開始後に室内の揮発性有機化合物(VOC)の濃度測定が行われ、測定結果が厚生労働省の指針値を超えている場合については、受注者は、工事引き渡し後であっても、その原因究明に当たって協力しなければならない。また、本工事の施工が原因となって、化学物質の濃度が厚生労働省の定める指針値を超えたものであることが判明した場合は、受注者の負担により、その対策を講じなければならない。</p> <p>② 内部養生に合板又は構造用パネルを使用する場合、その合板または構造用パネルのホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆、又はそれと同等と認められる製品を使用する。</p>																																						
22	<p>22 直接仮設の養生</p>																																						
23	<p>23 建築材料等</p> <p>本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。(記載順序は不同)また、「評価名簿による」と特記されたものについては、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」によるもの、又は評価の内容についてこれらと同等と認められるものとする。ただし、同等とする場合は、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>県内産資材の優先使用</p> <p>本工事に使用する資材は、機能、品質、価格等が同等であれば、県内産資材を優先して使用するものとする。なお、県外産資材を使用する場合は、使用理由を施工計画書の打合せ事項に記載し、監督職員の確認を受けること。</p> <p>注1: 県内産資材とは、高知県内で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工した資材、又は高知県外で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工された資材をいう。ただし、①木材は、高知県内の森林から生産されたもの、②生コンクリートの細骨材に配合する海砂は、高知県内で産出されたものとする。</p> <p>注2: 県外産資材とは、県内産資材以外の資材をいう。</p>																																						
24	<p>24 特別な材料の工法</p> <p>公共建築工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、監督職員の承諾を受けて当該材料製造所の指定する工法による。</p>																																						
25	<p>25 風圧力</p> <p>本工事に使用する材料及び工法は、建築基準法に基づき定まる風圧力に対応したものとし、速度圧を定める場合の風速(Vo)及び地表面粗土区分は、次の数値とする。</p> <p>風速(Vo): ※ 38m/sec ・ 36m/sec 地表面粗土区分: ※ III ・ II</p>																																						
26	<p>26 仕上面の出隅処理</p> <p>内外部とも仕上出隅で利用者の手の届く範囲は、図示が無くとも原則として全て面取りを施す。</p> <p>木部(家具を含む) 6mm程度</p> <p>コンクリート、モルタル部 20mm程度</p> <p>鉄部、金属部 3mm程度</p> <p>建具類等、上記により難い場合は、監督職員と協議する。</p>																																						

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																															
27 事業損失補償	※現場説明書による。	5 監督職員の備品等	備品等の設置 [2.4.1] <table border="1"> <tr><th>備品の種類</th><th>機・椅子</th><th>書 棚</th><th>黒 板</th><th>P C</th><th>掛 時 計</th></tr> <tr><td>数 量</td><td>組</td><td>台</td><td>枚</td><td>台</td><td>個</td></tr> <tr><th>備品の種類</th><th>温 度 計</th><th>ゴ ム 長 靴</th><th>雨 が つ ば</th><th>保 護 帽</th><th>懐 中 電 灯</th></tr> <tr><td>数 量</td><td>個</td><td>足</td><td>着</td><td>個</td><td>個</td></tr> <tr><th>備品の種類</th><th>衣 類 ロ ッ カ ー</th><th>冷 暖 房 機 器</th><th>消 火 器</th><th>湯 沸 器</th><th>加 入 電 話 付 属 器</th></tr> <tr><td>数 量</td><td>人 用</td><td>台</td><td>個</td><td>台</td><td>台</td></tr> <tr><th>備品の種類</th><th>掃 除 具</th><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>数 量</td><td>個</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	備品の種類	機・椅子	書 棚	黒 板	P C	掛 時 計	数 量	組	台	枚	台	個	備品の種類	温 度 計	ゴ ム 長 靴	雨 が つ ば	保 護 帽	懐 中 電 灯	数 量	個	足	着	個	個	備品の種類	衣 類 ロ ッ カ ー	冷 暖 房 機 器	消 火 器	湯 沸 器	加 入 電 話 付 属 器	数 量	人 用	台	個	台	台	備品の種類	掃 除 具					数 量	個					6 樹脂製建具	・防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 T-1・T-2・T-3・T-4 [5.2.2] 適用箇所 ※図示 ・断熱ドア、断熱サッシの断熱性の等級 H-1・H-2・H-3・H-4・H-5 適用箇所 ※図示 ステンレス鋼板の種類 ※SUS304, SUS430J1L又はSUS443J1 [5.2.3][5.6.3(1)] 網戸等 [5.2.3] <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>材質</th><th>線径</th><th>網目</th><th>適用箇所</th></tr> <tr><td>・防虫網</td><td>※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製(SUS316)</td><td>※0.25mm以上</td><td>※16~18メッシュ</td><td>※図示</td></tr> <tr><td>・防鳥網</td><td>※ステンレス(SUS304)線材</td><td>※1.5mm</td><td>※網目寸法15mm</td><td>※図示</td></tr> </table>	種類	材質	線径	網目	適用箇所	・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製(SUS316)	※0.25mm以上	※16~18メッシュ	※図示	・防鳥網	※ステンレス(SUS304)線材	※1.5mm	※網目寸法15mm	※図示
備品の種類	機・椅子	書 棚	黒 板	P C	掛 時 計																																																															
数 量	組	台	枚	台	個																																																															
備品の種類	温 度 計	ゴ ム 長 靴	雨 が つ ば	保 護 帽	懐 中 電 灯																																																															
数 量	個	足	着	個	個																																																															
備品の種類	衣 類 ロ ッ カ ー	冷 暖 房 機 器	消 火 器	湯 沸 器	加 入 電 話 付 属 器																																																															
数 量	人 用	台	個	台	台																																																															
備品の種類	掃 除 具																																																																			
数 量	個																																																																			
種類	材質	線径	網目	適用箇所																																																																
・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製(SUS316)	※0.25mm以上	※16~18メッシュ	※図示																																																																
・防鳥網	※ステンレス(SUS304)線材	※1.5mm	※網目寸法15mm	※図示																																																																
29 完成写真	下表のものを監督職員に提出する。 <table border="1"> <tr><th>位置</th><th>分類・規格</th><th>撮影枚数</th><th>部 数</th><th>原画の大きさ(mm)</th></tr> <tr><td>・各室</td><td>手札版(L版)</td><td>※2枚・枚</td><td>※1部・部</td><td>・100×125以上</td></tr> <tr><td>・外部</td><td>キャビネ版</td><td>※4枚・枚</td><td>※1部・部</td><td>・24×36以上</td></tr> <tr><td>・外部</td><td>半切パネル(木製枠※アルミ枠)</td><td>※1枚・枚</td><td>※1部・部</td><td></td></tr> <tr><td>・</td><td>スライド</td><td></td><td>※1部・部</td><td></td></tr> </table> カラー・電子データ化(CD-R等)し、すべて提出する。 撮影箇所は監督職員と協議する。 上表のほか、監督職員指示の箇所をデジタルカメラにて撮影し、CD-R等にて提出する。 画像形式等 フォーマット: JPEG 画質: 標準 画像サイズ: 1024×768ピクセル程度	位置	分類・規格	撮影枚数	部 数	原画の大きさ(mm)	・各室	手札版(L版)	※2枚・枚	※1部・部	・100×125以上	・外部	キャビネ版	※4枚・枚	※1部・部	・24×36以上	・外部	半切パネル(木製枠※アルミ枠)	※1枚・枚	※1部・部		・	スライド		※1部・部		6 工事用水・電力	構内既存の施設(用水) ○利用できる (※有償 ○無償) ※利用できない 構内既存の施設(電力) ○利用できる (※有償 ○無償) ※利用できない 構内既存の施設を利用できる場合で、無償の場合は、下記a)~c)による。 a) 既存設備の水栓等から直接水を使用する場合は、監督職員と協議する。 b) 既存のコンセントから直接電力を使用する場合は、監督職員と協議する。 c) 工事用電源を既存建築物から分岐する場合は、原則、既設分電盤の共用回路のコンセントからとする。なお、接続する回路の負荷状態を確認し、既設負荷への波及がないようにする。 また、漏電遮断器付コンセント等を使用し、安全の確保を図る。 構内既存の施設を利用できる場合で、有償の場合は、上記a)~c)に下記d)~e)を加える。 d) 工事用水は、既存設備に量水器を設けて、仮設配管を施し使用するものとする。 e) 工事用電力は、原則、既存設備に電力計を設けて、仮設配電盤を設置し、使用するものとする。 四国電力送配電網などの架空線に防護管の設置が必要な場合は、監督職員と協議する。 ※図示	7 鋼製建具	・防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 T-1・T-2 [5.3.2][表5.3.2] 適用箇所 ※図示 ・断熱ドア、断熱サッシの断熱性の等級 H-4・H-5・H-6 [5.3.2][表5.3.3] 適用箇所 ※図示 外部に面する建具の日射熱取得特性の等級 N-1・N-2・N-3 [5.3.2] 網戸等 [5.2.3] <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>材質</th><th>線径</th><th>網目</th><th>適用箇所</th></tr> <tr><td>・防虫網</td><td>※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製(SUS316)</td><td>※0.25mm以上</td><td>※16~18メッシュ</td><td>※図示</td></tr> <tr><td>・防鳥網</td><td>※ステンレス(SUS304)線材</td><td>※1.5mm</td><td>※網目寸法15mm</td><td>※図示</td></tr> </table>	種類	材質	線径	網目	適用箇所	・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製(SUS316)	※0.25mm以上	※16~18メッシュ	※図示	・防鳥網	※ステンレス(SUS304)線材	※1.5mm	※網目寸法15mm	※図示																							
位置	分類・規格	撮影枚数	部 数	原画の大きさ(mm)																																																																
・各室	手札版(L版)	※2枚・枚	※1部・部	・100×125以上																																																																
・外部	キャビネ版	※4枚・枚	※1部・部	・24×36以上																																																																
・外部	半切パネル(木製枠※アルミ枠)	※1枚・枚	※1部・部																																																																	
・	スライド		※1部・部																																																																	
種類	材質	線径	網目	適用箇所																																																																
・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製(SUS316)	※0.25mm以上	※16~18メッシュ	※図示																																																																
・防鳥網	※ステンレス(SUS304)線材	※1.5mm	※網目寸法15mm	※図示																																																																
30 別途設備工事との取合い	施工範囲 ・貫通孔、開口部の補強 ※下表 ・図示 ・壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 ※下表 ・図示 ・駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ ・自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強	7 仮囲い	※図示	8 鋼製軽量建具	簡易気密型ドアセット ・適用する [5.4.2][表5.4.1] 外部に面する建具の耐風圧性 S-4・S-5・S-6 [5.4.2][表5.2.1] 枠の見込み(※図示) ・防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 T-1・T-2・T-3・T-4 [5.2.2][5.4.2] 適用箇所 ※図示 ・断熱ドア、断熱サッシの断熱性の等級 H-1・H-2・H-3・H-4・H-5 適用箇所 ※図示 ・耐震ドアの面内変形追随性の等級 D-1・D-2・D-3 適用箇所 ※図示 点検口の類のくつずりの材料 ・枠と同材 ・ステンレス [5.4.3] ステンレス鋼板の種類 ※SUS304, SUS430J1L又はSUS443J1 [5.4.3][5.6.3(1)] 鋼板類の厚さ ※図示(図示がない場合は表5.4.2による) [5.4.4] ステンレス製くつずりの仕上げ ※HL [5.4.4] 標準型鋼製建具の有効内法寸法(表5.4.5による) [5.4.6] ・適用する(建具符号、形式及び寸法は建具表による) 製造所 評価名簿による																																																															
31 撤去部分	コンクリート、モルタル等の撤去部分の境目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする。	8 仮設物撤去後の整地・跡片付け	※図示 ・原形の復旧 ・良土にて設計地盤まで盛土整地する。 範囲(図示) 厚さ() [2.5.1]	9 ステンレス製建具	簡易気密型ドアセット ・適用する [5.5.2] ・防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 T-1・T-2・T-3・T-4 適用箇所 ※図示 ・断熱ドア、断熱サッシの断熱性の等級 H-1・H-2・H-3・H-4・H-5 適用箇所 ※図示 ・耐震ドアの面内変形追随性の等級 D-1・D-2・D-3 適用箇所 ※図示 鋼板類の種類 ※亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 [5.5.3] ・ステンレス鋼板 ステンレス鋼板の種類 ※SUS304, SUS430J1L又はSUS443J1 [5.6.3] 召合わせ、縦小口包み板等の材質 ※鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金押出形材 [5.6.4] 鋼板類の厚さ ※図示(図示がない場合は表5.5.1による) [5.6.6] ステンレス製くつずりの仕上げ ※HL [5.6.4] 標準型鋼製建具の有効内法寸法(表5.4.5による) [5.6.6] ・適用する(建具符号、形式及び寸法は建具表による) 製造所 評価名簿による																																																															
32 不当要求等への対応	暴力団又は暴力団関係者からの不当要求又は工事妨害(以下この文において「不当介入」という。)の排除については次に由る。 a) 受注者は、暴力団又は暴力団関係者からの工事の施工に関して不当介入を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。 b) 受注者は、不当介入による被害を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。 c) 受注者は、監督職員及び所轄警察署と協力して、不当介入の排除処理を講じなければならない。 d) 受注者が、不当介入の報告を怠った場合は、「高知市競争入札指名停止措置要綱」に基づき、指名停止措置を行うものとする。	防水改修工事	① シーリング シーリング改修工の種類 [3.1.4][3.7.4~3.7.7][表3.1.2] ○シーリング充填工法 ・シーリング再充填工法 ・拡張シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 [3.7.7] ボンドプレーカー張り ・適用する エッジング材張り ・適用する シーリング材の種類、施工箇所 [3.1.4][3.7.2][表3.7.1] ※下表による(下表以外は表3.7.1による) <table border="1"> <tr><th>種類(記号)</th><th>主成分による区分</th><th>施 工 箇 所</th></tr> <tr><td>○SR-1</td><td>シリコン系</td><td>図示</td></tr> <tr><td>・SR-2</td><td>変成シリコン系</td><td></td></tr> <tr><td>・MS-2</td><td>変成シリコン系</td><td></td></tr> <tr><td>・PS-2</td><td>ポリサルファイド系</td><td></td></tr> <tr><td>・PU-2</td><td>ポリウレタン系</td><td></td></tr> </table> 仕上げを行わない箇所 () [表3.7.1] シーリング材の目地寸法 [3.7.3] <table border="1"> <tr><th>箇所</th><th>打継ぎ/ひび割れ誘発目地</th><th>ガラス回りの目地</th><th>左記以外の目地</th></tr> <tr><td>幅(mm)</td><td>※20以上</td><td>※幅及び深さ5以上[5.13]</td><td>※10以上</td></tr> <tr><td>深さ(mm)</td><td>※10以上</td><td>[.3]による場合を除く)</td><td>※10以上</td></tr> </table> 接着性試験 [3.7.8] ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験	種類(記号)	主成分による区分	施 工 箇 所	○SR-1	シリコン系	図示	・SR-2	変成シリコン系		・MS-2	変成シリコン系		・PS-2	ポリサルファイド系		・PU-2	ポリウレタン系		箇所	打継ぎ/ひび割れ誘発目地	ガラス回りの目地	左記以外の目地	幅(mm)	※20以上	※幅及び深さ5以上[5.13]	※10以上	深さ(mm)	※10以上	[.3]による場合を除く)	※10以上	10 木製建具	建具材の加工、組立て時の含水率 ※A種 ・B種 [5.7.2][表5.7.1] ○フラッシュ戸 [5.7.2][表5.7.2] 表面材の合板の種類 ※図示 品質等 ※5.7.2(2)(f)(a)~(c)による 表面板の厚さ ※表5.7.6による ・かまち戸 かまちの樹種 () 鏡板の樹種 () [5.7.2] 見込み寸法(mm) ※図示(図示がない場合は表5.7.7による) [5.7.3][表5.7.7]																																	
種類(記号)	主成分による区分	施 工 箇 所																																																																		
○SR-1	シリコン系	図示																																																																		
・SR-2	変成シリコン系																																																																			
・MS-2	変成シリコン系																																																																			
・PS-2	ポリサルファイド系																																																																			
・PU-2	ポリウレタン系																																																																			
箇所	打継ぎ/ひび割れ誘発目地	ガラス回りの目地	左記以外の目地																																																																	
幅(mm)	※20以上	※幅及び深さ5以上[5.13]	※10以上																																																																	
深さ(mm)	※10以上	[.3]による場合を除く)	※10以上																																																																	
33 消防計画	工事の着手にあたり、火災等の災害の予防や、使用部分と工事中の部分の安全を確保するため、別契約の関連工事業者と協議の上、「工事中の消防計画書」を作成し、当該施設の防火管理者の承諾を得て届出を行う。	② 養生	○ 既存部分の養生 ※ビニルシート、合板等 [2.3.1] ・既存家具、既存設備等の養生 ※ビニルシート等 ・既存ブラインド、カーテン等の養生、保管場所 ※図示 ・固定された備品等の移動 ※図示 ・開口部養生 窓等の破損の危険がある工事を行う場合は、施工を行う周辺及びその下部の窓等には、室内に破損物等が飛散しない様、堅固な養生を行う。	11 木製建具	建具材の加工、組立て時の含水率 ※A種 ・B種 [5.7.2][表5.7.1] ○フラッシュ戸 [5.7.2][表5.7.2] 表面材の合板の種類 ※図示 品質等 ※5.7.2(2)(f)(a)~(c)による 表面板の厚さ ※表5.7.6による ・かまち戸 かまちの樹種 () 鏡板の樹種 () [5.7.2] 見込み寸法(mm) ※図示(図示がない場合は表5.7.7による) [5.7.3][表5.7.7]																																																															
34 工事特性等	受注者は、自ら立案した工事特性、創意工夫、社会性等のそれぞれの評価項目について、実施しようとする場合は、事前に計画内容を所定の様式で監督職員に提出する。 また、実施後、工事完成時までに所定の様式に実施状況の分かる図面や状況写真等を添付して監督職員に提出する。	③ 仮設間仕切り(屋内)	設置箇所 ※図示 [2.3.2][表2.3.1] 間仕切り種別 ・A種 ○B種 ※C種 A種, B種の場合 仕上げの材種 ※せっこうボード 厚さ9.5mm ・合板(普通合板)厚さ9.0mm 塗装仕上げ等 ・行う ※行わない 仮設扉設置箇所 ※図示 ○無し 仮設扉種別 ・合板張り木製扉程度 ・図示	12 木製建具	建具材の加工、組立て時の含水率 ※A種 ・B種 [5.7.2][表5.7.1] ○フラッシュ戸 [5.7.2][表5.7.2] 表面材の合板の種類 ※図示 品質等 ※5.7.2(2)(f)(a)~(c)による 表面板の厚さ ※表5.7.6による ・かまち戸 かまちの樹種 () 鏡板の樹種 () [5.7.2] 見込み寸法(mm) ※図示(図示がない場合は表5.7.7による) [5.7.3][表5.7.7]																																																															
仮設工事(改修)	① 足場その他 [2.1.3][2.2.1][表2.2.1] 内部足場 ※きやつ、足場板等 外部足場 ※本足場 外部足場の養生 ※図示 ・防護シート ・メッシュシート ・防音シート ・防音パネル 材料、撤去材の運搬方法 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・E種 C種の場合 利用可能なエレベーター(※図示) D種の場合 利用可能な階段(※図示) ・屋上防水作業の端部には、墜落防止手摺等墜落の危険を防止する措置を講ずる。 本足場を設ける場合は、公共建築改修工事標準仕様書2.2.1(2)によるほか、足場の組立、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」により行うこと。	④ 監督職員事務所	・設ける (n°程度) ※設けない																																																																	

高知市 都市建設部 公共建築課

工 事 名	係 長	課 長 補 佐	課 長	図 面 番 号
神田みどり保育園2・3歳保育室トイレ改修工事	鈴木	世間	松本	A-02
図 面 名	作 図	日		
改修特記仕様書(2)	令和6年	8月		

Table with 3 columns: Item (項目), Remarks (特記事項), and Item (項目). The table contains detailed specifications for construction materials and components, including: 11. 建具用金物 (Hardware), 12. 鍵 (Locks), 13. 自動ドア開閉装置 (Automatic door opener), 14. 自閉式上吊り引戸装置 (Automatic overhead door), 15. 重量シャッター (Weighted shutter), 16. 軽量シャッター (Lightweight shutter), 17. オーバーヘッドドア (Overhead door), 18. ガラス (Glass), 19. ガラス留め材 (Glass fasteners), 20. ガラスブロック積み (Glass block masonry), 内装改修工事 (Interior renovation work), 21. 建築窓ガラス用フィルム (Building window glass film), 22. 造作用集材 (Manufacturing composite material), 8. 造作用単板積層材 (Manufacturing single-layer laminated material), 9. 直交集成板 (Cross-laminated board), 10. 合板等 (Veneer, etc.), 11. 接合具等 (Fasteners, etc.), 12. 木れんが (Wood tiles), 13. 防蟻・防蟻処理 (Ant termite treatment)

高知市 都市建設部 公共建築課

Table with 4 columns: 工 事 名 (Project Name), 係 長 (Supervisor), 課長補佐 (Deputy Section Chief), 課 長 (Section Chief), 図面番号 (Drawing No.). Content: 神田みどり保育園2・3歳保育室トイレ改修工事, 係長: 鈴木, 課長補佐: 松本, 課長: 岡本, 図面番号: A-03

図 面 名 改修特記仕様書(3) 2024.04 縮 尺 1 / - 作 図 令和6年 8月 日

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項		
19 軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類 屋内 (※19形・25形) 屋外 (・19形 ※25形) [6.6.2][表6.6.1] 野縁等の間隔 [6.6.3][表6.6.2] 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びびと施工アンカー [6.6.4] ※既存の埋込みインサートを使用する (○)新たにつりボルト用あと施工アンカーを設ける つりボルトの引張試験 試験箇所数及び確認強度は6.6.4(9)による 屋内 ※行う ・行わない 屋外 ※行う ・行わない [6.6.4] ・耐風圧性を考慮した補強 適用箇所: ※図示 補強方法: ※図示 ・つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強 適用箇所: ※図示 補強方法: ※図示 [6.6.4] ○天井下地材における耐震性を考慮した補強 適用箇所: ※すべて ・図示 補強方法: ・国土交通省平成25年告示第771号の基準に適合するもの ※6.6.4(9)による。ただし、ふところ1.5m以下の場合も適用し、 固定方法は専用金具又はボルトとし、溶接は不可とする。 ・天井のふところが3mを超える場合の補強 適用箇所: ※図示 補強方法: ※図示	28 フローリング張り	単層フローリング [6.11.2][6.11.3][6.11.4][6.11.6][表6.11.1][表6.11.3][表6.11.5] 種類 工法 厚さ(mm) 樹種 備考 ・フローリングボード1等 ・釘留め工法(根太張り) ※15 ・釘留め工法(直張り) ・12 ・接着工法 ・8 ・フローリングボード1等 ・接着工法 ※15 フローリングボードの幅、長さ ※表6.11.1, 表6.11.3, 表6.11.5による フローリングブロックの幅、長さ ・300×300 ・303×303 複合フローリング [表6.11.2][表6.11.4][表6.11.6] 工法 種類 厚さ(mm) 樹種 備考 ・釘留め工法(根太張り) ・A種 ※12 ・釘留め工法(直張り) ・B種 ・15 ・接着工法 ※C種 (ひき板の厚さ) ・3mm以上 ※表6.11.4 フローリングの幅、長さ ※表6.11.2, 表6.11.4, 表6.11.6による 接着工法の場合の不燃種和材 ※合成樹脂発泡シート [6.11.5] 塗装 ・工場塗装 ・ウレタン樹脂ワニス塗り [6.11.6][7.11.1] ・現場塗装 ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・A種 ※B種 ・オイルステイン塗りのうえワックス塗り ・生地のままワックス塗り (自然塗料) 複合フローリングのホルムアルデヒド放散量 [6.11.2] ※F☆☆☆☆, またはそれと同等と認められるもの ・畳 種別 ※D種 (畳床・KT-I・KT-II※KT-III・KT-K・KT-N) [6.12.2][表6.12.1] ・衝撃緩和型畳 畳表 ・C1 ・C2 材料 種類 [6.13.2][表6.13.1] 種類 JISの記号 厚さ(mm) 規格等 ・硬質木毛セメント板 HW ・15 ・20 ・25 ・普通木毛セメント板 NW ・15 ・20 ・25 ・硬質木片セメント板 HF ・12 ・16 ・18 ・21 ・普通木片セメント板 NF ・30 ・けい酸カルシウム板 0.8FK タイプ2(無石綿) ・6 ・8 (ノンアスベスト) 1.0FK ○化粧けい酸カルシウム板 ○6 ○ロックウール化粧吸音板 DR ※フラットタイプ(※9(準不燃) ・12 ・) ※凹凸タイプ(※12(不燃) ・15 ・) ・ロックウール吸音ボード1号 RW-B ※25 ・グラスウール吸音ボード2号32K GW-B ※25(ガラスクロス包) ○せっこうボード GB-R ※12.5(不燃) ・15(不燃) ○9.5(準不燃) ・不燃層積せっこうボード GB-NC ・9.5(不燃) ・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様) ○ソーキングせっこうボード GB-S ※12.5(不燃) ・15(不燃) ○9.5(準不燃) ・強化せっこうボード GB-F ・12.5(不燃) ・15(不燃) ・せっこうラスボード GB-L ・9.5 ・12.5 ・化粧せっこうボード(ほか・木目) GB-D ・9.5(準不燃) ・12.5(不燃) ・化粧せっこうボード(木目) GB-D ・9.5(準不燃) ・12.5(不燃) 模様() ・普通合板 表板の樹種名 ※図示 板面の品質 () 厚さ(mm) () 接着の程度 ・1類 ・2類 ・防虫処理 ・難燃処理 ・防炎処理 ・コンクリート型枠用合板 厚さ(mm) () ・構造用合板 厚さ(mm) () ・天然木化粧合板 化粧板の樹種名 () 接着の程度 ・1類 ・2類 厚さ(mm) () ・防虫処理 ・特殊加工化粧合板 () (・メラミン化粧合板) (・ポリエステル化粧合板) (・プリント合板) () ・防虫処理 ・メディアムデンシファイバーボード MDF ・3 ・7 ・9 ・12 ・単板張りパーテイクルボード ・無研磨板 ・研磨板 ・10 ・12 ・15 ・18 ・化粧パーテイクルボード ・単層オーバーレイ ・塗装 ・プラスチックオーバーレイ ・10(難燃) ・12(難燃) ・ハードボード(素地) HB ・無研磨板(・スタンダード ・テンパード) ・研磨板(・スタンダード ・テンパード) ・内装用 ・外装用 ・2.5 ・3.5 ・5 ・7 ・インシュレーションボード IB A級(・天井仕上り ・内装仕上り) ・9 ・12 ・15 ・18 せっこうボードの目地処理の種類 [6.13.3][表6.13.5] 目地工法の種類 せっこうボードのエッジの種類 継目処理工法 ・テーパエッジ ※ベベルエッジ 突き上げ工法 ※ベベルエッジ ・スクエアエッジ 目透し工法 ※スクエアエッジ ・ベベルエッジ 合板類の張付け ・A種 ※B種 [6.13.3][表6.13.3] MDF及びパーテイクルボード並びに合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆, またはそれと同等と認められるもの [6.13.2] 遮音壁に用いるシール材 ・シーリング材 ・ジョイントコンパウンド [6.13.2] 天井のボードの重ね張りの張り付け方法(ロックウール吸音板を除く) [6.13.3] () 壁紙 [6.14.2] 種類 程度 防火性能 施工箇所 ※塩化ビニル樹脂系 ・不燃 ・準不燃 ・難燃 ・ ・不燃 ・準不燃 ・難燃 ・ ・不燃 ・準不燃 ・難燃 素地ごしらえ モルタル面及び石膏面 ・A種 ※B種 [6.14.3][表7.3.4] コンクリート面及びALCパネル面 ・A種 ※B種 [6.14.3][表7.3.5] せっこうボード及びその他のボード面 ・A種 ※B種 [6.14.3][表7.3.7] 壁紙のホルムアルデヒドの放散量等 ※F☆☆☆☆, またはそれと同等と認められるもの [6.14.2]	33 接着剤	壁紙, ビニル床タイル, ビニル床シート, 幅木, フローリングその他内装に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	34 モルタル塗り	モルタル ※現場調合材料 ・既調合材料 () [6.15.3] 既製目地材 ・適用する(形状: ※図示) () [6.15.5] 仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処理 ※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込, ステンレス製等張り ・図示 [6.15.6] 床の目地 (目地割り ※2m程度 最大目地間隔3m程度 (種類 ※押し目地)) タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗料塗りの接着力試験 ※行う ・行わない
20 軽量鉄骨壁下地	スタッド, ランナー等の種類 ※表6.7.1による ○図示 [6.7.3][表6.7.1] スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示 [6.7.3] 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※14.5.4(5)による ○図示 [6.7.4]	29 畳敷き	(天井, 壁仕上げ) せっこうボードその他のボード及び合板張り	35 セルフレベリング材塗り	標準的な曲がりの役物は一体成形とする 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 壁タイル張りの工法 内装タイル ※内装壁タイル接着剤張り [表6.16.6] 種 標準塗厚(mm) 施工箇所 ・せっこう系・セメント系 ※10		
21 (床仕上げ) ビニル床シート張り	種類の記号 色柄 厚さ(mm) 特殊機能 施工箇所 備考 ※FS ※無地 ※2.0 ○防汚性 ○抗菌性 トイレ床 乾式トイレ用ビニル床シート 公表価格5,000円/m2程度 ※FS ※無地 ※2.0 ○防汚性 ○抗菌性 ○耐薬品性 ○帯電防止 ○耐動荷重性 ○防汚性 ○耐薬品性 接合部の処理 ※熱溶接工法 ・突付け(施工箇所:) 帯電防止性能 ※帯電防止性能評価値(JIS A 1455)1.2以上~3.2未満又は 体積電気抵抗値(JIS A 1454)1×10 ⁷ ~10 ¹⁰ Ω程度 下地 ※図示 [6.8.2~6.8.3]	30		塗装改修工事	① 一般事項	屋内で使用使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆とする [7.1.3] 防火材料 ・屋内の壁及び天井の塗装仕上げは, 防火材料とする。 [7.1.3] ・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)	
22 ビニル床タイル張り	種類の記号 色柄 寸法 厚さ(mm) 特殊機能 施工箇所 ※KT ・無地 ※300×300 ※2.0 ・帯電防止 ・防汚性 ・TT ・FT ・柄物 ・2.0 ・帯電防止 ・防汚性 ・FOA ・FOB ・帯電防止 ・防汚性 帯電防止性能 ※帯電防止性能評価値(JIS A 1455)1.2以上~3.2未満又は 体積電気抵抗値(JIS A 1454)1×10 ⁷ ~10 ¹⁰ Ω程度 [6.8.2~6.8.3]			② 下地調整	塗替えR種種の既存塗膜の除去範囲 ※劣化部分は除去し, 活膜部分は残す [7.2.1] [7.2.2~7.2.7][表7.2.1~表7.2.7] 下地面の種類 下地調整の種別 ひび割れの補修 木部 不透明塗料塗り ※R種 透明塗料塗り ・R種 鉄鋼面 DP ※R種 亜鉛めっき鋼面 ※R種 モルタル面, プラスター面 ※R種 コンクリート面(DP以外)・ALCパネル面 ※R種 コンクリート面(DP)・押出成形セメント板面 ・ せっこうボード面・その他ボード面 ※R種		
23 誘導用床材及び警告用床材	種 類 寸法(mm) 厚さ(mm) 備考 ・レジンコンクリート系 ※300×300 ※30 ※JIS T 9251適合品 ・タイル系 ・60 ・塩化ビニル系 ※300×300 ※図示			③ 素地ごしらえ	[7.3.2~7.3.7][表7.3.1~表7.3.7] 下地面等 種別 木部 不透明塗料塗り ※A種 ・B種 透明塗料塗り ・A種 ※B種 鉄鋼面(DP以外) ・A種 ・B種 ※C種 鉄鋼面(DP) ・A種 ※B種 ・C種 亜鉛めっき鋼面 ・A種 ・B種 モルタル面及びプラスター面 ・A種 ※B種 コンクリート・ALCパネル面(DP以外) ・A種 ※B種 コンクリート(DP) ・A種 ・B種 押出成形セメント板面 ・A種 ・B種 せっこうボード面(継目処理工法) ※A種 ・B種 せっこうボード面(継目処理以外)・その他ボード面 ・A種 ※B種		
24 ビニル幅木	材 種 厚さ(mm) 高さ(mm) 施工箇所 ※軟質 ・硬質 ※1.5 ・ ※60 ・75 ・100 [6.8.2]			4 錆止め塗料の種類	[7.3.3, 7.4.2~7.4.3][表7.3.3, 表7.4.1~表7.4.6] 鉄鋼面 塗装面 塗料 工程 SOP 塗替え 塗替え ※C種 新規見え掛り部分 ※A種 ※A種 ・B種 新規見え隠れ部分 ※B種 ・A種 DP 塗替え 1回目 C種 ※A種 2, 3回目 D種 ・B種 ・C種 E種 ※A種 ・B種 ・C種 屋内(EP-G) 塗替え 1回目 C種 ※A種 2, 3回目 D種 ※B種 新規見え隠れ部分 ※C種 塗替え 1回目 C種 ※A種 新規見え掛り部分 ※B種 ・A種 ※A種 新規見え隠れ部分 ※B種 亜鉛めっき鋼面 SOP 塗替え ※A種 ・B種 ※A種 ・B種 鋼製建具以外 ※B種 ・A種 ※B種 ・A種 DP 塗替え ※B種 [表7.4.6] 鋼製建具 ※B種 [表7.4.6] 鋼製建具以外 ※B種 [表7.4.6] 屋内(EP-G) 塗替え ※C種 ※C種 鋼製建具 ※C種 ※A種 ・B種 鋼製建具以外 ※C種 ※B種 ・A種		
25 ゴム床タイル張り	色柄 種類 厚さ(mm) 寸法(mm) 備考 ・単層 ・複層 ・3.0 ・4.0 ・5.0 ・6.0 ・9.0 [6.8.2]						
26 カーペット敷き	・織じゅうたん [6.9.2][表6.9.1] 織り方 バイル形状 帯電性 品質(公表単価(円/m2)) ・カットバイル ・カットバイル ・換要する ・ダブルループバイル ・ループバイル ・フスシカカーペット ・カット, ループ併用 色柄, バイル糸の種類 ※模様のない無地のもの 種別 (・A種 ・B種 ・C種) ・タフテッドカーペット [6.9.2] バイル形状 バイル長 工法 帯電性 品質(公表単価(円/m2)) ・カットバイル ※全面接着工法 ・換要する ・ループバイル ・クリッパー工法 ・レベーループバイル ・カット, ループ併用 ・タイルカーペット [6.9.2] 種類 バイル形状 寸法(mm) 総厚さ(mm) 品質(公表単価(円/m2)) ※第一種 ・カットバイル ※ループバイル ※500×500 ※6.5 ※第二種 ・カットバイル, ループ併用 ・7.0 タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し [6.9.3] 階段部分 ※模様流し ・市松敷き ・下敷き材 ※JIS L 3204(反毛フェルト)に基づく第2種2号, 呼び厚さ8.0mm [6.9.2] 取付け用付属品 [6.9.2] 見切り ※(材質 種類 形状) ・図示 押え金物 ※(材質 種類 形状) ・図示						
27 合成樹脂塗床	種類 施工箇所 工法 仕上げの種類 ・厚膜型塗床材 ※図示 ※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・弾性ウレタン樹脂系塗床材 ・つや消し仕上げ ・厚膜型塗床材 ※図示 ・薄膜流しのべ工法 ・平滑仕上げ ・エポキシ樹脂系塗床材 ・厚膜流しのべ工法 ・防汚仕上げ ・薄膜型塗床材 ※図示 ・樹脂モルタル工法 ※平滑仕上げ 塗床材の塗料のホルムアルデヒド放散量 [6.10.2] ※F☆☆☆☆						
31 壁紙張り							

⑤ 塗装の種別 [7.3.2, 7.5.2~7.13.2][表7.5.1~表7.13.1]

略号	塗 装	塗 装 面	塗 替 え	新 規
・ SOP	合成樹脂塗料ペイント塗り	木部(屋外) ※B種	※A種	・
	塗料の種類 ※1種	木部(屋内) ※B種	※B種	・
		鉄鋼面 ※B種	※B種	・ A種
		亜鉛めっき鋼面 ※A種	※B種	・
		鋼製建具(亜鉛めっき鋼面) ※A種	※B種	・
・ CL	クリアラッカー塗り	※B種	・ A種	・ A種
・ NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	※B種	・ A種	・ A種
・ DP	耐候性塗料塗り	上塗り塗料等級		
		鉄鋼面 表7.8.1	表7.8.1	
		亜鉛めっき鋼面 表7.8.2	表7.8.2	
		コンクリート面及びECP面	・ A-2	・ B-2
			・ C-2	・ A-1
			・ C-1	・ B-1
○ EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り	コンクリート面 ※B種	※B種	・ A種
		モルタル面 ※B種	※B種	・ A種
		プラスター面 ※B種	※B種	・ A種
		せつこうボード面 ※B種	※B種	・ A種
		その他ボード面 ※B種	※B種	・ A種
		屋内木部 ※B種	※B種	・ A種
		屋内鉄鋼面 ※B種	※A種	・ B種
		屋内亜鉛めっき鋼面 ※A種	※A種	・ B種
・ EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り	コンクリート面 ※B種	※B種	・ A種
		モルタル面 ※B種	※B種	・ A種
		プラスター面 ※B種	※B種	・ A種
		せつこうボード面 ※B種	※B種	・ A種
		その他ボード面 ※B種	※B種	・ A種
○ UC	ウレタン樹脂ワニス塗り	※B種	※B種	・ A種
・ スティン	・ ビグメントステイン塗り	表7.12.1	表7.12.1	
・ ウォール	・ オイルステイン塗り(OS)			
・ WP	木材保護塗料塗り	※B種	※B種	・
CL	A種の場合の塗料の種類			
UC	着色	・ 適用する		
OS	仕様	・ 図示		

金属工事

① あと施工アンカー

アンカー本体	構造計算で用いた	構造計算で用いた	アンカーの	接合筋	使用箇所	
径	埋込み長さ	引張耐力	せん断耐力	種類	径	長さ
M10	※ 図示	・	・	SD295	D13	※ 図示
・	径×5以上	・	・	SD345	D16	※ 図示
○	製造所指定	・	・	D19	D19	
		・	・	D22	D22	

② あと施工アンカー性能確認試験

③ 埋め込み配管等の探査

④ あと施工アンカーの施工後の確認試験

石綿粉じん濃度測定

測定時期 処理作業前

測定場所

測定名称

測定点

測定方法

ユニット及びその他工事

1 フリーアクセスフロア

施工箇所	工法	表面仕上げ材の材質	寸法(mm)	高さ(mm)	所定荷重(N)	耐震性能
・	・ 支柱調整式	※ タイルカーペット	※ 500×500		・ 3,000	・ 1.0G
・	・ 敷敷式	・ 帯電防止ビニル床タイル	・		・ 5,000	・ 0.6G

2 移動間仕切

構造形式	構成基材(JIS記号)	表面仕上材	不燃認定	遮音性(dB/500Hz)
・ パネル式	・ AL	・ w	・ p	・ 15程度
・ スタッド式(内蔵)	・ ST	・ st	・ gy	・ 30程度
・ スタッド式(露出)	・ E	・ g	・ pa	・ 36以上
・ スタッドパネル式	・ al	・ e	・	・

3 トイレブース

4 鏡

5 表示

区 分	材質・厚さ(mm)	印刷等の種別	色 彩	取付形式	書 体
・ 室名札	※ 図示	※ シルクスクリーン印刷	※ 図示	※ 図示	※ 図示
・ ピクトグラフ	※ 図示	※ シルクスクリーン印刷	※ 図示	※ 図示	※ 図示
・ とびら番号	※ 図示	※ シルクスクリーン印刷	※ 図示	※ 図示	※ 図示
・ 非常用出入口	※ 図示	※ シルクスクリーン印刷	※ 図示	※ 図示	※ 図示

6 手すり

7 階段滑り止め

8 黒板及びホワイトボード

9 トラップ

10 煙突ライニング

11 ブラインド

形式	※ 横形ブラインド	※ 縦形ブラインド
スラットの材質	※ アルミニウム合金製	・ アルミスラット
	・	・ クロソスラット
開閉方式	※ ギヤ式	・ コード式
	・ 操作棒式	・ 電動式
スラットの成形幅(mm)	※ 25	・ 80
		・ 100
ヘッドボックスの材質	※ 鋼製	・ アルミニウム製
ボトムレールの材質	※ 鋼製	・ アルミニウム製

12 ロールスクリーン

14 カーテン

15 カーテンレール

16 天井見切縁

17 コーナービート

18 点検口

19 ステンレス流し台

20 コンロ台

21 吊戸棚

22 水切り棚

23 かつみマット

24 収納家具等の材料

25 フェンス

26 止め支柱

27 耐震スリット

28 エキスパンションジョイント金物

29 面台

解体工事

① 解体範囲

② 解体作業注意事項

③ 作業時間等

④ 騒音測定等

⑤ その他

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名 神田みどり保育園2・3歳保育室トイレ改修工事

図面名 改修特記仕様書(5) 縮尺 1/ー

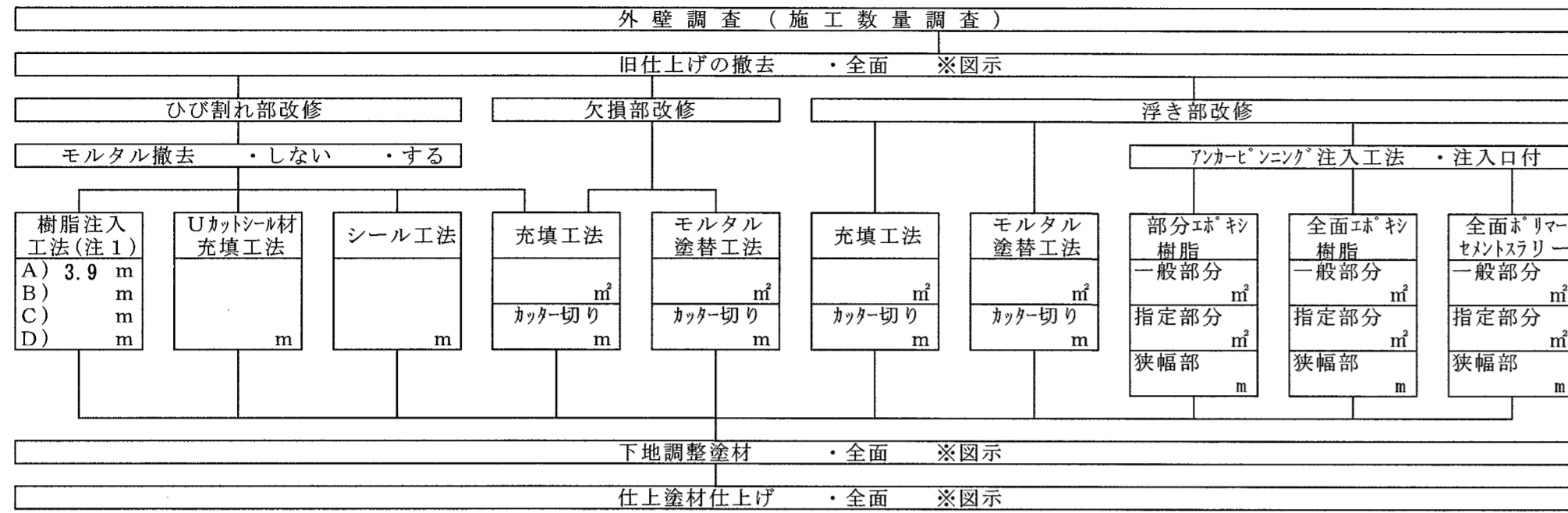
係 係長 課長補佐 課長 図面番号
鈴木 菅岡 松本 西村 A-05
作図 令和6年8月 日

項目	特記事項	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																																																											
外壁改修工事(共通事項)	<p>可とう性エポキシ樹脂 [4.2.4] JIS A 6024による。</p> <table border="1"> <tr> <th>比重</th> <th>押し出し性(秒)</th> <th>スランプ(Mm)</th> <th>質量変化率(%)</th> <th>引張り強さ(MPa)</th> <th>破断時伸び(%)</th> <th>引張り接着性</th> </tr> <tr> <td>表示値±0.10</td> <td>60以下</td> <td>3.0以下</td> <td>5.0以下</td> <td>標準 1.0以上 低温 1.0以上 加熱劣化1.0以上</td> <td>標準 30.0以上 低温 30.0以上 加熱劣化30.0以上</td> <td>最大引張強さ1.0MPa以上 破断時の伸び10.0%以上</td> </tr> </table> <p>1)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2)対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。 3)常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、品質・性能が上記の各項目に適合していること。</p> <p>パテ状エポキシ樹脂 [4.2.4] JIS A 6024による。</p> <table border="1"> <tr> <th>初期硬化性(MPa)</th> <th>接着強さ(MPa)</th> <th>圧縮強さ(MPa)</th> <th>曲げ強さ(MPa)</th> <th>硬化収縮率(%)</th> </tr> <tr> <td>標準2.0以上</td> <td>標準6.0以上</td> <td>50.0以上</td> <td>30.0以上</td> <td>3.0以下</td> </tr> </table> <p>1)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2)対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。 3)常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、品質・性能が上記の各項目に適合していること。 4)試験方法は、JIS A 6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)に準じる。</p> <p>エポキシ樹脂モルタル [4.2.4] JIS A 6024による。</p> <table border="1"> <tr> <th>だれ</th> <th>接着強さ(MPa)</th> <th>圧縮強さ(MPa)</th> <th>曲げ強さ(MPa)</th> </tr> <tr> <td>形状に異常がなく、だれが生じないこと</td> <td>1.0以上</td> <td>20.0以上</td> <td>10.0以上(3日後の値)</td> </tr> </table> <p>1)こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上がりが良好であること。 2)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 3)「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 4)常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月間保存した後であっても、品質・性能が上記の各項目の規定に適合していること。</p> <p>ポリマーセメントモルタル [4.2.4]</p> <table border="1"> <tr> <th>だれ</th> <th>曲げ強さ(N/mm2)</th> <th>圧縮強さ(N/mm2)</th> <th>接着強さ(N/mm2)</th> </tr> <tr> <td>下がり量 5mm以内</td> <td>6.0以上</td> <td>20.0以上</td> <td>標準条件 1.0以上 特殊条件 湿度時 0.8以上 低温時 0.5以上</td> </tr> </table> <p>1)透水性 裏面のぬれ、水滴の付着がないこと。 2)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 3)ポリマーセメントモルタルに用いる高分子エマルションは、常温常湿において製造後6ヶ月保存しても変質しないこと。</p> <p>ポリマーセメントスラリー [4.3.5]</p> <table border="1"> <tr> <th>拡がり速さ(cm/s)</th> <th>長さ変化率(収縮)(%)</th> <th>引張接着性(材齢28日)(N/mm2)</th> <th>曲げ強度(材齢28日)(N/mm2)</th> <th>吸水率(72時間)(%)</th> <th>劣化曲げ強さ(N/mm2)</th> </tr> <tr> <td>3以上</td> <td>3以下</td> <td>0.49以上</td> <td>4.9以上</td> <td>15以下</td> <td>4.9以上</td> </tr> </table> <p>1)保水係数 0.35~0.55 2)粘調係数 0.50~1.00 3)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 4)ポリマーセメントスラリー用の材料は、常温常湿において製造後6ヶ月保存しても変質しないこと。</p> <p>既調合モルタル [4.3.10] モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和材等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。</p> <table border="1"> <tr> <th>保水率(%)</th> <th>単位容積質量(kg/L)</th> <th>接着強さ</th> <th>長さ変化率(%)</th> <th>曲げ強さ(N/mm2)</th> </tr> <tr> <td>70.0以上</td> <td>1.8以上</td> <td>標準養生 0.6N/mm2以上 温冷繰返し後 0.4N/mm2以上</td> <td>0.2以下</td> <td>4.0以上</td> </tr> </table>	比重	押し出し性(秒)	スランプ(Mm)	質量変化率(%)	引張り強さ(MPa)	破断時伸び(%)	引張り接着性	表示値±0.10	60以下	3.0以下	5.0以下	標準 1.0以上 低温 1.0以上 加熱劣化1.0以上	標準 30.0以上 低温 30.0以上 加熱劣化30.0以上	最大引張強さ1.0MPa以上 破断時の伸び10.0%以上	初期硬化性(MPa)	接着強さ(MPa)	圧縮強さ(MPa)	曲げ強さ(MPa)	硬化収縮率(%)	標準2.0以上	標準6.0以上	50.0以上	30.0以上	3.0以下	だれ	接着強さ(MPa)	圧縮強さ(MPa)	曲げ強さ(MPa)	形状に異常がなく、だれが生じないこと	1.0以上	20.0以上	10.0以上(3日後の値)	だれ	曲げ強さ(N/mm2)	圧縮強さ(N/mm2)	接着強さ(N/mm2)	下がり量 5mm以内	6.0以上	20.0以上	標準条件 1.0以上 特殊条件 湿度時 0.8以上 低温時 0.5以上	拡がり速さ(cm/s)	長さ変化率(収縮)(%)	引張接着性(材齢28日)(N/mm2)	曲げ強度(材齢28日)(N/mm2)	吸水率(72時間)(%)	劣化曲げ強さ(N/mm2)	3以上	3以下	0.49以上	4.9以上	15以下	4.9以上	保水率(%)	単位容積質量(kg/L)	接着強さ	長さ変化率(%)	曲げ強さ(N/mm2)	70.0以上	1.8以上	標準養生 0.6N/mm2以上 温冷繰返し後 0.4N/mm2以上	0.2以下	4.0以上	3 浮き部改修工法	<p>[4.3.11~16]</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">改修工法の種類</th> <th colspan="3">アンカーの本数</th> <th colspan="3">注入口の箇所数</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>一般部分本/m2</th> <th>指定部分本/m2</th> <th>狭幅部本/m</th> <th>一般部分箇所/m2</th> <th>指定部分箇所/m2</th> <th>狭幅部箇所/m</th> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>※5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>注入量 ※25mL</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※25mL</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※50mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>注入量 ※25mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※25mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※50mL</td> </tr> </table> <p>アンカーピン [4.3.5] ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの。 注入口付アンカーピン [4.3.5] ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm</p> <p>充填工法 [4.2.6][4.3.7] 材料 ※エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル モルタル塗替え工法 [4.3.10] 仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置 ※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込、ステンレス製ラス等張り ・図示</p>	改修工法の種類	アンカーの本数			注入口の箇所数			備考	一般部分本/m2	指定部分本/m2	狭幅部本/m	一般部分箇所/m2	指定部分箇所/m2	狭幅部箇所/m	・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※5	-	-	-	注入量 ※25mL	・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※25mL	・アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※50mL	・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	-	-	-	注入量 ※25mL	・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※25mL	・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※50mL		
比重	押し出し性(秒)	スランプ(Mm)	質量変化率(%)	引張り強さ(MPa)	破断時伸び(%)	引張り接着性																																																																																																																											
表示値±0.10	60以下	3.0以下	5.0以下	標準 1.0以上 低温 1.0以上 加熱劣化1.0以上	標準 30.0以上 低温 30.0以上 加熱劣化30.0以上	最大引張強さ1.0MPa以上 破断時の伸び10.0%以上																																																																																																																											
初期硬化性(MPa)	接着強さ(MPa)	圧縮強さ(MPa)	曲げ強さ(MPa)	硬化収縮率(%)																																																																																																																													
標準2.0以上	標準6.0以上	50.0以上	30.0以上	3.0以下																																																																																																																													
だれ	接着強さ(MPa)	圧縮強さ(MPa)	曲げ強さ(MPa)																																																																																																																														
形状に異常がなく、だれが生じないこと	1.0以上	20.0以上	10.0以上(3日後の値)																																																																																																																														
だれ	曲げ強さ(N/mm2)	圧縮強さ(N/mm2)	接着強さ(N/mm2)																																																																																																																														
下がり量 5mm以内	6.0以上	20.0以上	標準条件 1.0以上 特殊条件 湿度時 0.8以上 低温時 0.5以上																																																																																																																														
拡がり速さ(cm/s)	長さ変化率(収縮)(%)	引張接着性(材齢28日)(N/mm2)	曲げ強度(材齢28日)(N/mm2)	吸水率(72時間)(%)	劣化曲げ強さ(N/mm2)																																																																																																																												
3以上	3以下	0.49以上	4.9以上	15以下	4.9以上																																																																																																																												
保水率(%)	単位容積質量(kg/L)	接着強さ	長さ変化率(%)	曲げ強さ(N/mm2)																																																																																																																													
70.0以上	1.8以上	標準養生 0.6N/mm2以上 温冷繰返し後 0.4N/mm2以上	0.2以下	4.0以上																																																																																																																													
改修工法の種類	アンカーの本数			注入口の箇所数			備考																																																																																																																										
	一般部分本/m2	指定部分本/m2	狭幅部本/m	一般部分箇所/m2	指定部分箇所/m2	狭幅部箇所/m																																																																																																																											
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※5	-	-	-	注入量 ※25mL																																																																																																																										
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※25mL																																																																																																																										
・アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※50mL																																																																																																																										
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	-	-	-	注入量 ※25mL																																																																																																																										
・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※25mL																																																																																																																										
・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※50mL																																																																																																																										
外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ	<p>① ひび割れ部改修工法</p> <p>※樹脂注入工法 [4.2.5(1)~(5)][4.3.6]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(mL/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0以下</td> <td>※200~300</td> <td>※製造所の仕様・130</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>・50~100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>・100~200</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0以下</td> <td>・150~250</td> <td>※130</td> </tr> </table> <p>コア抜き検査 ※行わない ・行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)</p> <p>・Uカットシール材充填工法 [4.2.6][4.3.7] ・シーリング材 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・シール工法 [4.2.7][4.3.8] ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>※充填工法 [4.2.8(3)(4)][4.3.9] ※エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>・モルタル塗替え工法 [4.3.10] 仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置 ※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込、ステンレス製ラス等張り ・図示</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※200~300	※製造所の仕様・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50~100	※40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100~200	※70		0.5以上1.0以下	・150~250	※130	2 欠損部改修工法																																																																																																											
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)																																																																																																																														
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※200~300	※製造所の仕様・130																																																																																																																														
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50~100	※40																																																																																																																														
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100~200	※70																																																																																																																														
	0.5以上1.0以下	・150~250	※130																																																																																																																														

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
神田みどり保育園2・3歳保育室トイレ改修工事	鈴木	菅岡	松本	岡村	A-06
図面名	改修特記仕様書(6) 2024.04 縮尺 1/—				
作成	令和6年 8月 日				

○モルタル塗り仕上げの場合



高知市 都市建設部 公共建築課

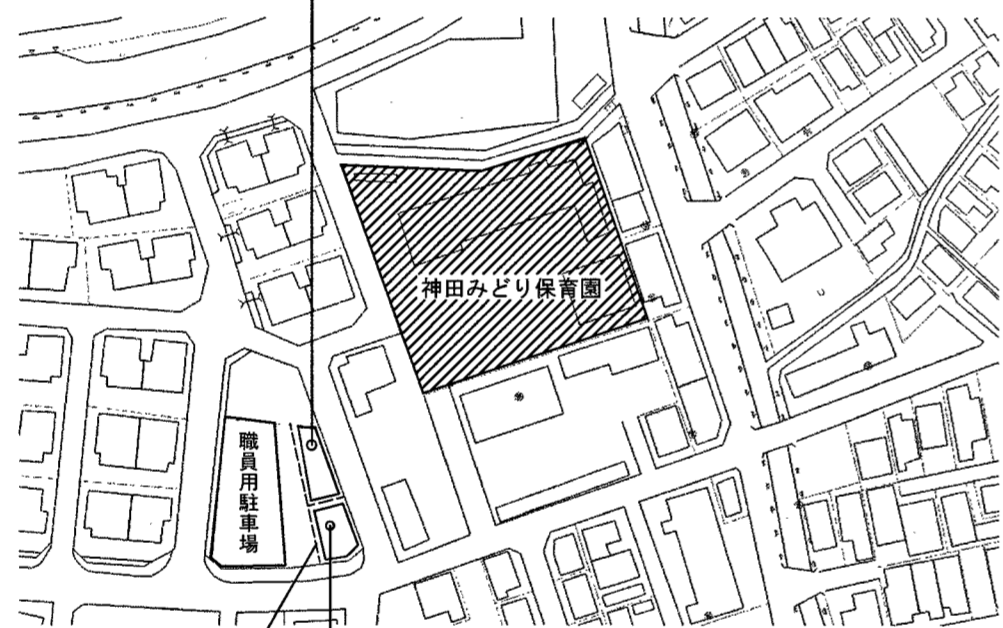
工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
神田みどり保育園2・3歳保育室トイレ改修工事	鈴木	世岡	松本	岡村	A-07
図面名 改修特記仕様書(7)	2024.04	縮尺 1/	作図	年 月 日	



県営船岡団地
 保育園駐車場
 工事車両置場
 ※詳細は下図参照
 工事場所：高知市神田47番地4 神田みどり保育園

付近見取図

※ 近隣にある保育園駐車場の一部を工事車両置場（10m×5m程度）として利用可。
 詳細は現地打合せによる。

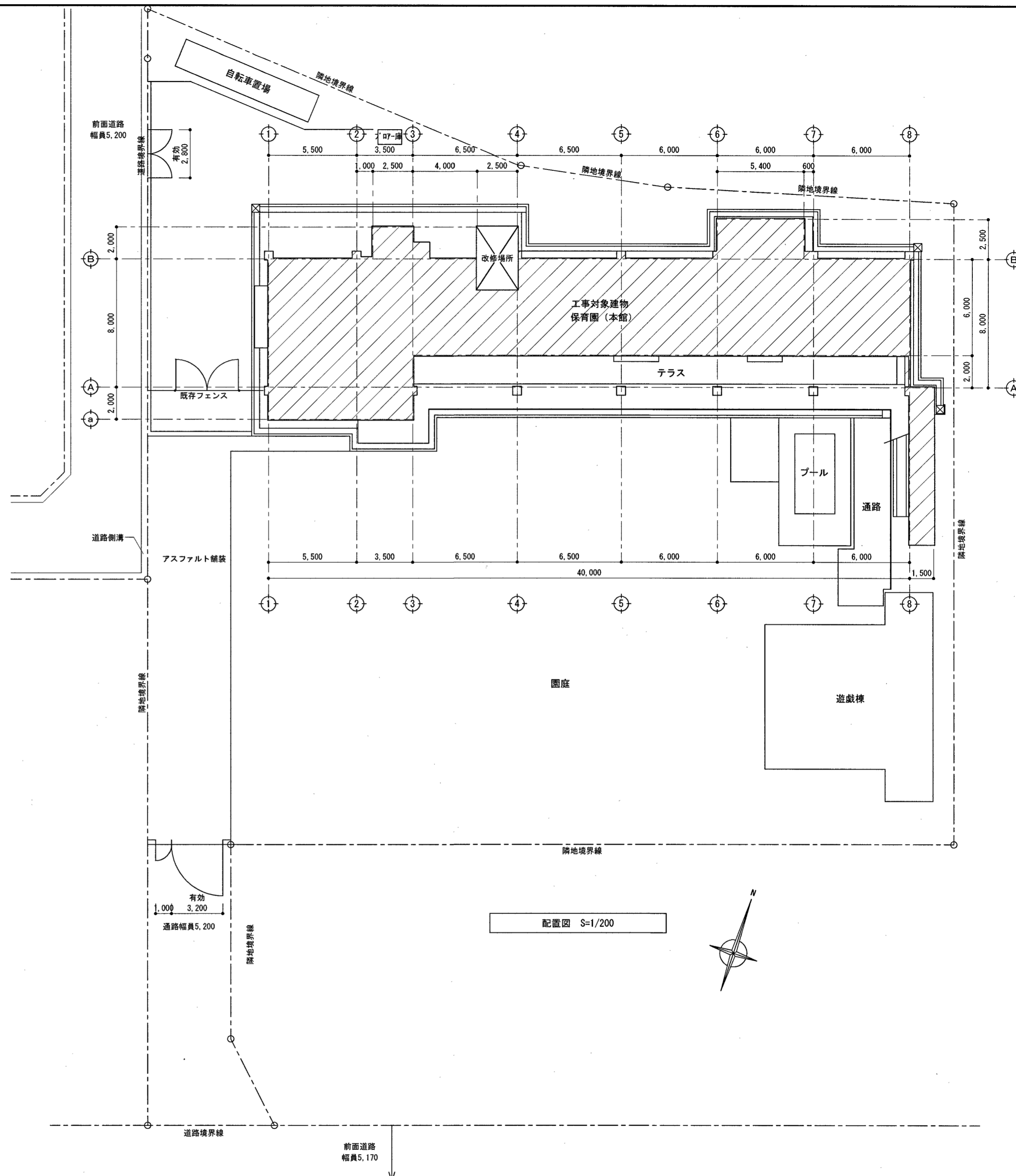


ガレージ・コンバー
 ※別契約改修工事で設置
 職員用駐車場
 別契約外壁等改修工事車両置場

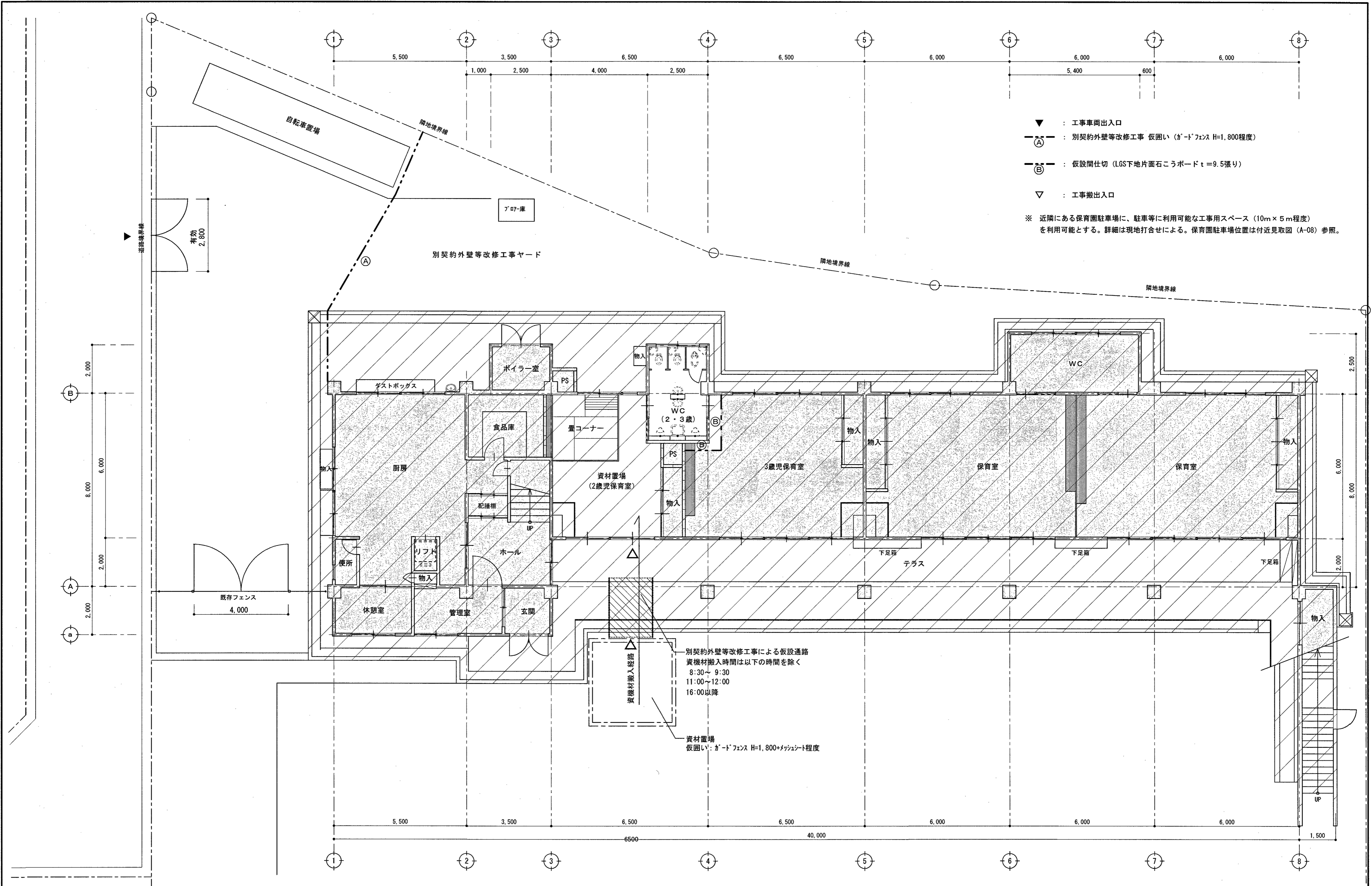
工事車両置場位置図

■ 工事概要

- 1) 2・3歳保育室トイレ改修
 - ・床の段差解消
 - ・壁、天井の張替え
 - ・トイレ出入口の建具取替え
 - ・トイレプースの取替え



高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 神田みどり保育園2・3歳保育室トイレ改修工事		No A-08	
係	係長	課長補佐	課長	図面名 工事概要・付近見取図・配置図		SCALE 1/200	
鈴木	岡	松本	岡	CHECKED BY		DRAWN BY Matsumoto	
用紙サイズによる縮尺補正値 A2: 100% A3: 70.7%				松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates		一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史	



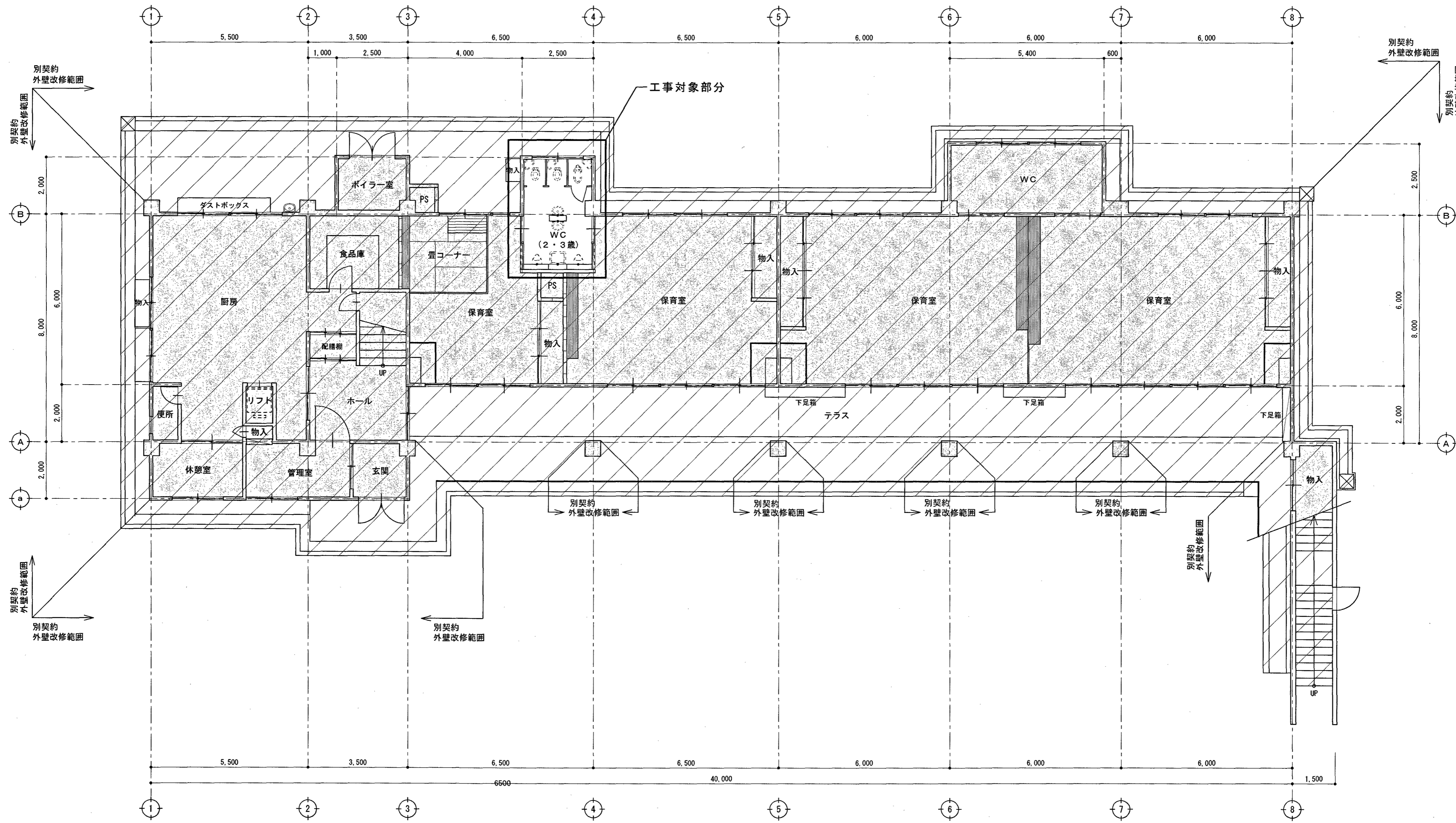
- ▼ : 工事車両出入口
- (A)— : 別契約外壁等改修工事 仮囲い (ガードフェンス H=1,800程度)
- (B)— : 仮設間仕切 (LGS下地片面石こうボード t=9.5張り)
- ▽ : 工事搬出入口

※ 近隣にある保育園駐車場に、駐車等に利用可能な工事用スペース (10m×5m程度) を利用可能とする。詳細は現地打合せによる。保育園駐車場位置は付近見取図 (A-08) 参照。

別契約外壁等改修工事による仮設通路
 資機材搬入時間は以下の時間を除く
 8:30~9:30
 11:00~12:00
 16:00以降
 資材置場
 仮囲い: ガードフェンス H=1,800+メッシュ程度

高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	神田みどり保育園2・3歳保育室トイレ改修工事		NO A-09
係	係長	課長補佐	課長	図面名	仮設計画図		
鈴木	世岡	松本	松村	CHECKED BY	DRAWN BY	Matsumoto	一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史

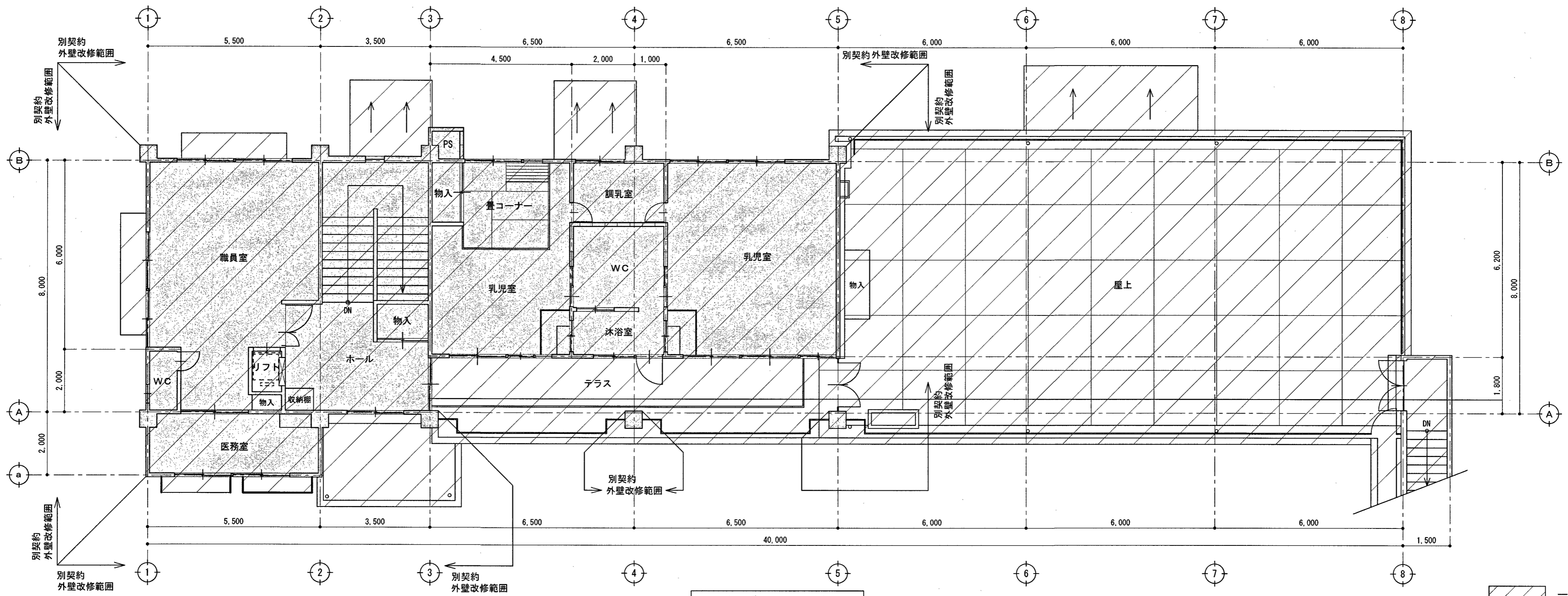
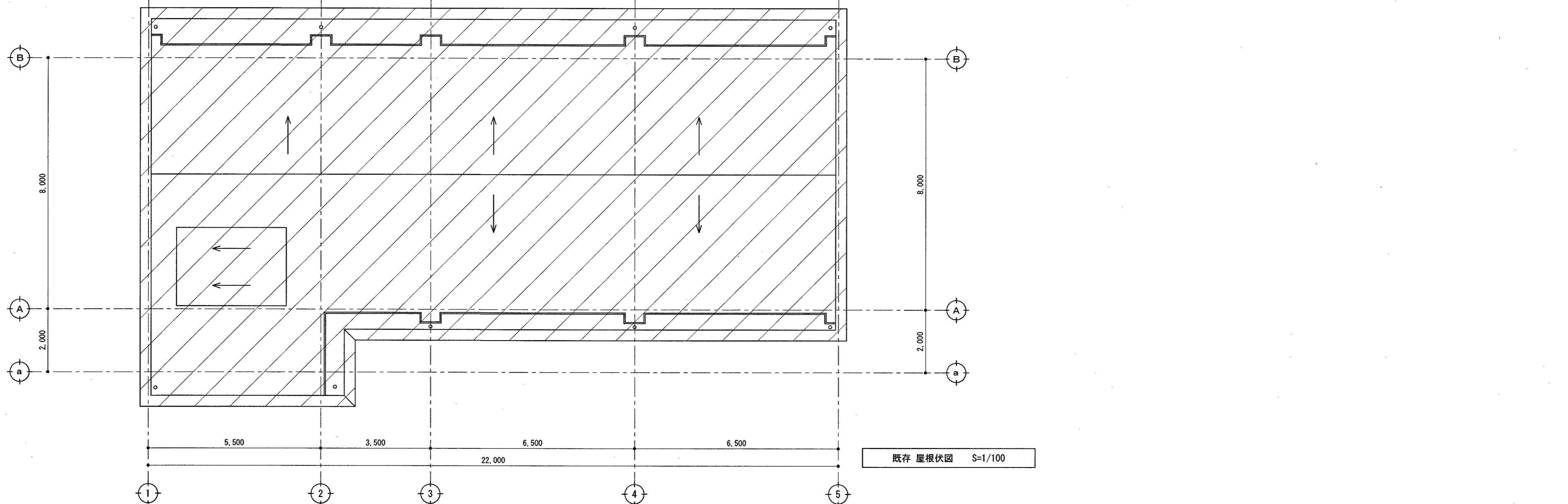
用紙サイズによる縮尺補正値 A2: 100% A3: 70.7%



既存 1階平面図 S=1/100

— 工事対象外範囲

高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	神田みどり保育園 2・3歳保育室トイレ改修工事		松本 琢史 建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates	NO A-10	
係	係長	課長補佐	課長	図面名	既存 1階平面図				SCALE
鈴木	菅岡	松本	西村	CHECKED BY	DRAWN BY	Matsumoto	1/100		
用紙サイズによる縮尺補正値 A2: 100% A3: 70.7%				— 松本 琢史 建築設計事務所 322947号 松本 琢史					



既存 2階平面図 S=1/100

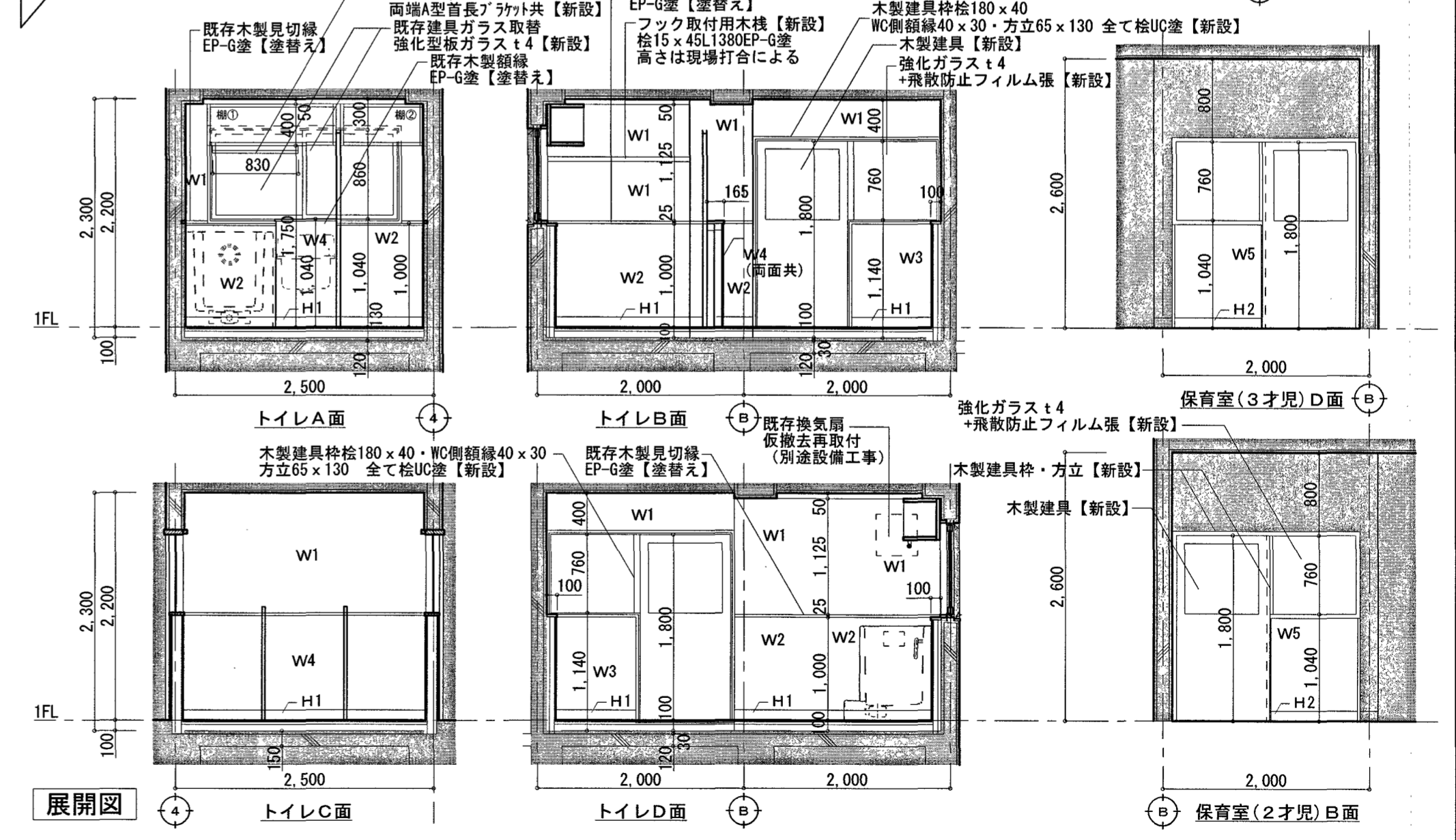
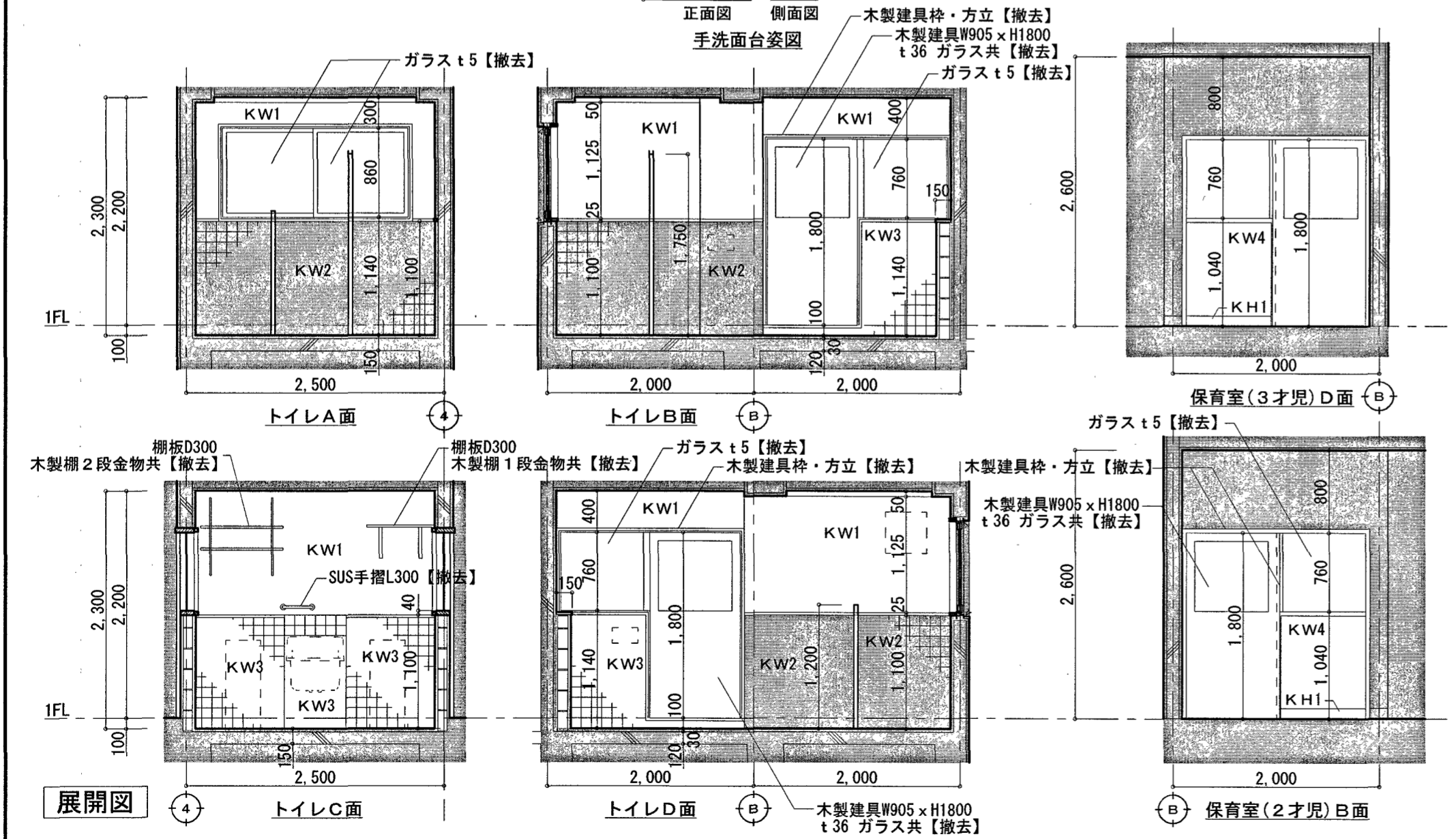
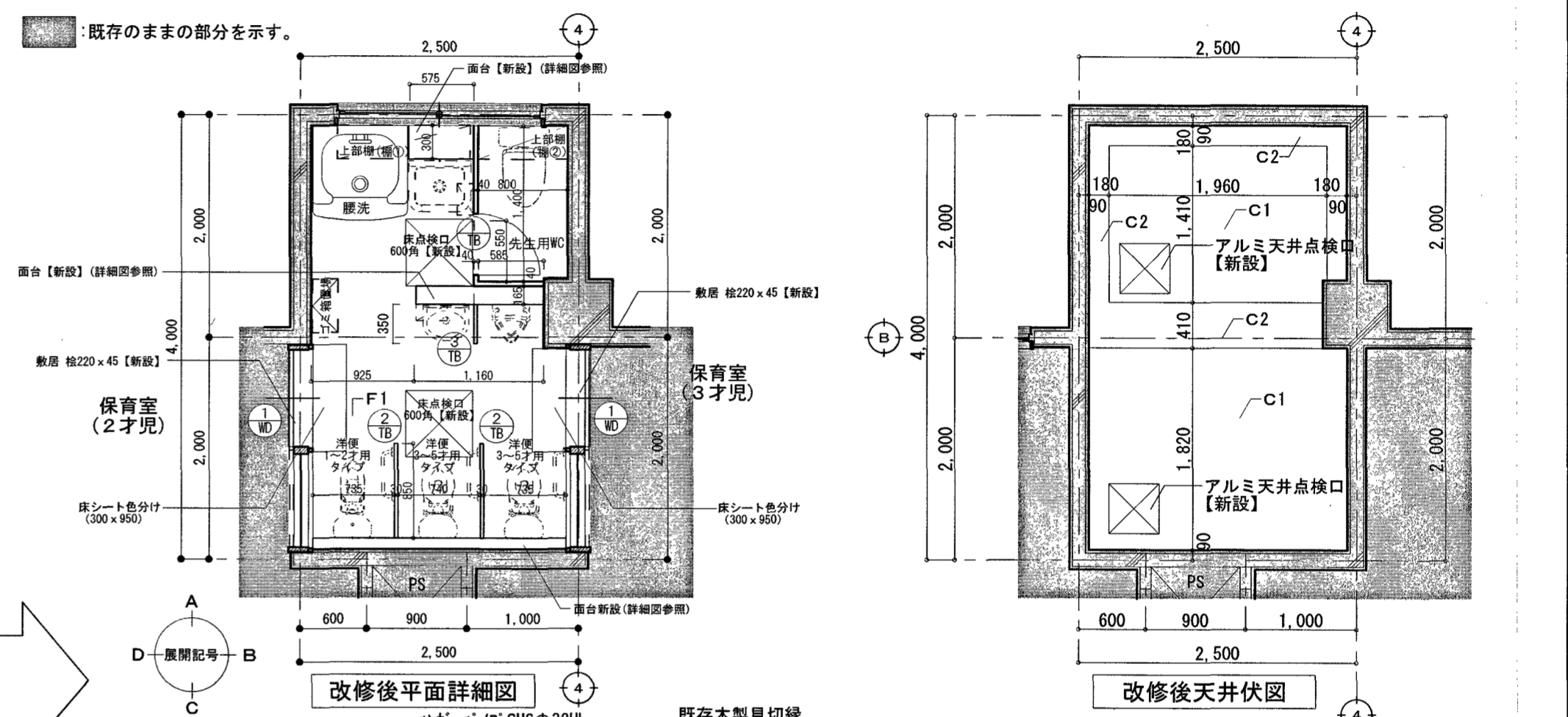
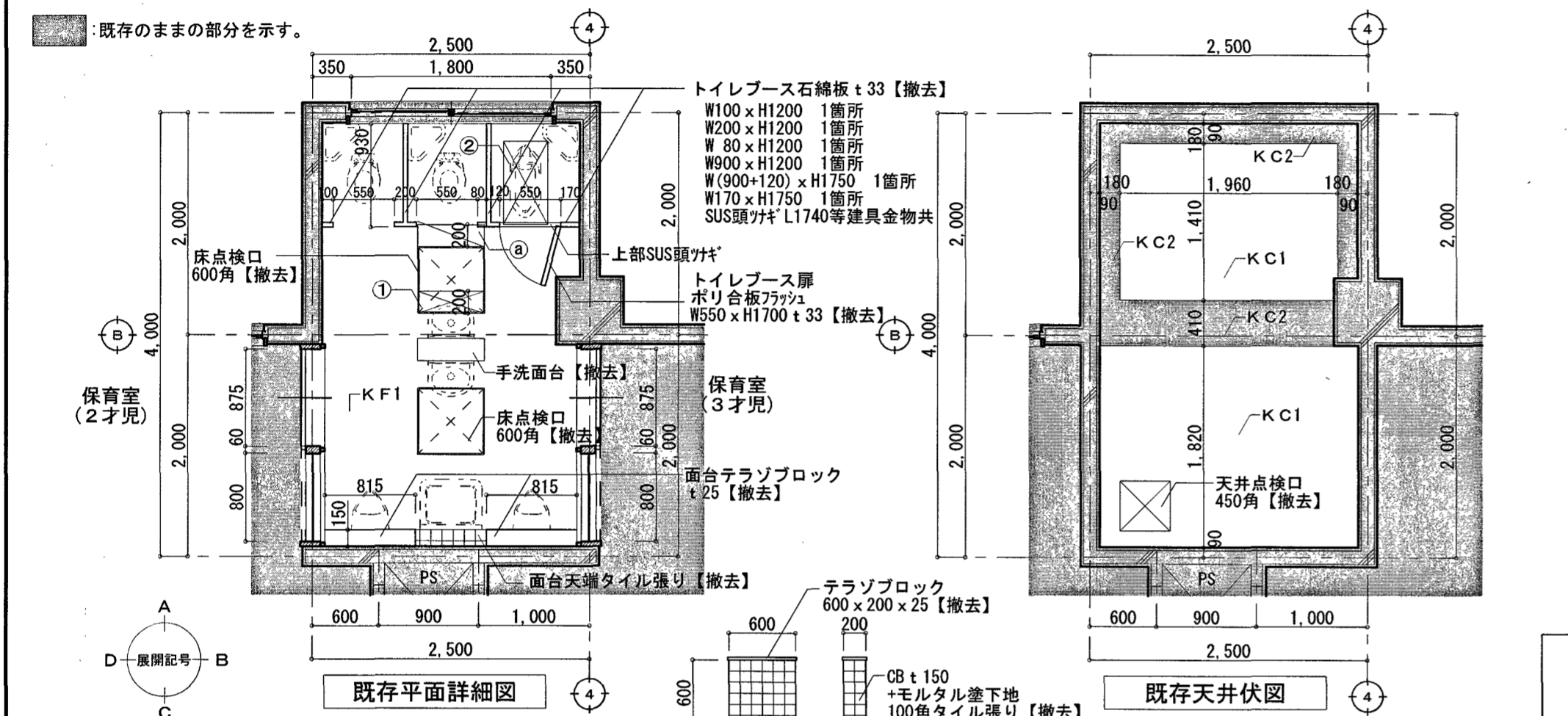
— 工事対象外範囲

高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 神田みどり保育園 2・3歳保育室トイレ改修工事		松本琢史建築設計事務所 TAKUJIMATSUMOTO Architect & Associates	NO A-11
係	係長	課長補佐	課長	図面名 既存 2階平面図・屋根伏図	SCALE 1/100		
用紙サイズによる縮尺補正値 A2: 100% A3: 70.7%				CHECKED BY	DRAWN BY	Matsumoto	一般建築士大団登録第322947号 松本琢史

内部仕上表

階数	室名	床(解体内容)	巾木	壁	廻り縁	天井	天井高	備考		
1階	WC(2・3歳)	改修前	K F1	モルタル下地 【既存のまま】 仕上材(ビニル床シート張り) 【撤去】	K H1 木製巾木 H=100 【撤去】	K W1 モルタル仕上 + EP塗 【既存塗膜をRAにて撤去】 K W2 腰壁:モルタル下地 100角タイル張り 【既存のまま】 -劣化改修(A-14)参照 K W3 腰壁:CB t100下地 モルタル塗 + 100角タイル張り CB下地共 【撤去】 K W4 腰壁:CB t100下地 石膏ボード t12.5張りEP塗 CB下地共 【撤去】	塩ビ 【撤去】	K C1 LGS下地 【撤去】 仕上材(GB-D t=9貼) 【撤去】 K C2 梁型モルタルEP塗 【既存のまま】 -劣化改修(A-14)参照	2.300	トイレブース 【撤去】 床点検口600角(2箇所) 【撤去】 天井点検口450角(1箇所) 【撤去】
		改修後	F1	乾式二重床+構造用合板 t=12+12捨張り+ ビニル床シート t=2.0張り 【新設】	H1 床材巻上げ H=100 【新設】 H2 木製巾木 H=100 【新設】 UC塗 【新設】	W1 (下地 既存タイル仕上) + ポリマセメント薄塗の上 化粧けい酸カルシウム板 t=6.0張り(接着改修工法) 【新設】 W2 (下地 既存タイル張り仕上) + ポリマセメント薄塗の上 化粧けい酸カルシウム板 t=6.0張り(接着改修工法) 【新設】 W3 LGS100下地 GB-S t=9.5+化粧けい酸カルシウム板 t=6.0張り 【新設】 W4 LGS65下地 構造用合板 t=12+化粧けい酸カルシウム板 t=6.0張り 【新設】 W5 LGS100下地 GB-R t=9.5+9.5+EP-G塗 【新設】	塩ビ 【新設】	C1 LGS下地+DR t=9.0張り 【新設】 C2 (既存梁型モルタル面) EP-G塗 梁側面共 【塗替え】	2.200	トイレブース 【新設】 床点検口600角(2箇所) 【新設】 天井点検口450角(2箇所) 【新設】 面台 【新設】

既存解体 平面詳細図・天井伏図・展開図 S=1:50 改修後 平面詳細図・天井伏図・展開図 S=1:50



※ 換気扇、照明器具、ペーパータオルホルダー、衛生陶器類、配管、電気配線、コンセント・スイッチ類の撤去は別途設備工事で行う。
 ※ 解体後、鉄筋露出部分は錆止め塗りをを行う。
 既存平面詳細図凡例 ① 床点検口撤去跡600x200開口閉塞
 ② 床コンクリート400x750 t150撤去(ビニル床シート仕上共) 4方カッター入れ共 撤去跡開口閉塞
 ③ 床コンクリート600x200 t150撤去 3方カッター入れ共

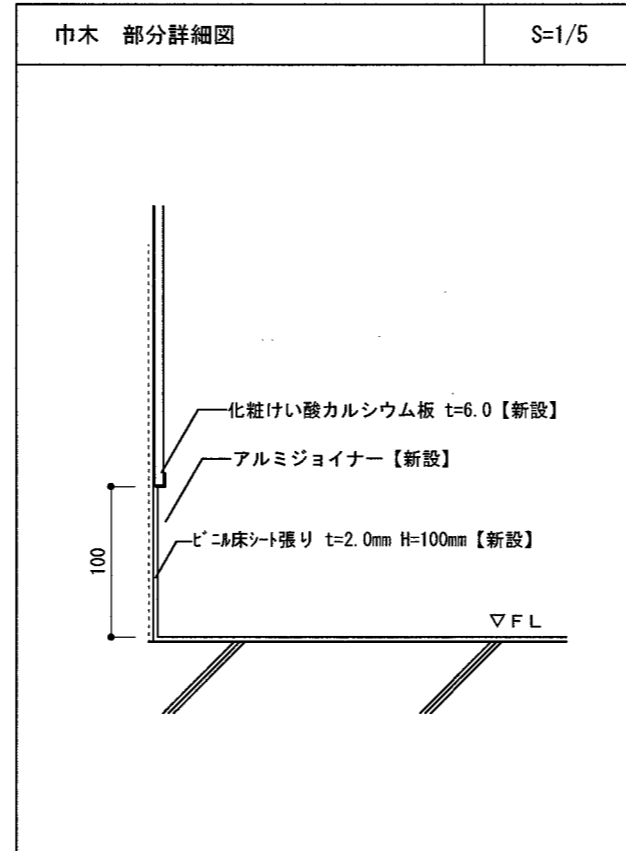
高知市 都市建設部 公共建築課
 係 係長 課長補佐 課長
 工事名 神田みどり保育園2・3歳保育室トイレ改修工事
 図面名 仕上表・平面詳細図・展開図・天井伏図
 CHECKED BY DRAWN BY Matsumoto
 松本 琢史 建築設計事務所
 TAKUJIMATSUMOTO Architect & Associates
 NO A-12
 SCALE 1/50
 用紙縮尺: A2-100% A3-70.7%

建具表

番号	① TB 1階 2・3歳児トイレ	箇所数	1	② TB 1階 2・3歳児トイレ	箇所数	2	③ TB 1階 2・3歳児トイレ	箇所数	1	④ WD 1階 2・3歳児トイレ	箇所数	2
形状 寸法	 7カツ目 S=1:50 見込40			 パネルエッジ: アルミRエッジ 姿図 S=1:50			 パネルエッジ: アルミRエッジ 姿図 S=1:50			 姿図 S=1:50		
材種	トイレブース (表面材: 高圧メラミン樹脂化粧板 芯材: ペーパーコア) 巾木タイプ			トイレブース (表面材: 高圧メラミン樹脂化粧板 芯材: ペーパーコア) 巾木タイプ			トイレブース (表面材: 高圧メラミン樹脂化粧板 芯材: ペーパーコア) 巾木タイプ			ポリ合板フラッシュ片引き戸		
金物	スライドロック (非常解錠付)、SUS巾木、アルミRエッジ、アルミ笠木、帽子掛戸当 標準金物一式			SUS巾木、アルミRエッジ、標準金物一式			SUS巾木、アルミRエッジ、標準金物一式			大型緩込引手・フラッターレール・指詰め防止戸当り・戸尻戸当ゴム		
塗装										小口 (桧) UC塗		
ガラス										強化ガラス (学校向け) t4 + 飛散防止フィルム ガラスシリング 5x5 (SR-1)		
備考										木製ガラリ (桧 UC塗・片羽根)		

家具図

番号	欄①② 1階 2・3歳児トイレ	箇所数	2
形状 寸法	 姿図 断面図 S=1:30		
材種	ポリ合板フラッシュ・小口メラミン化粧板 (カラーコア)		
金物			
塗装			
備考			



部分詳細図

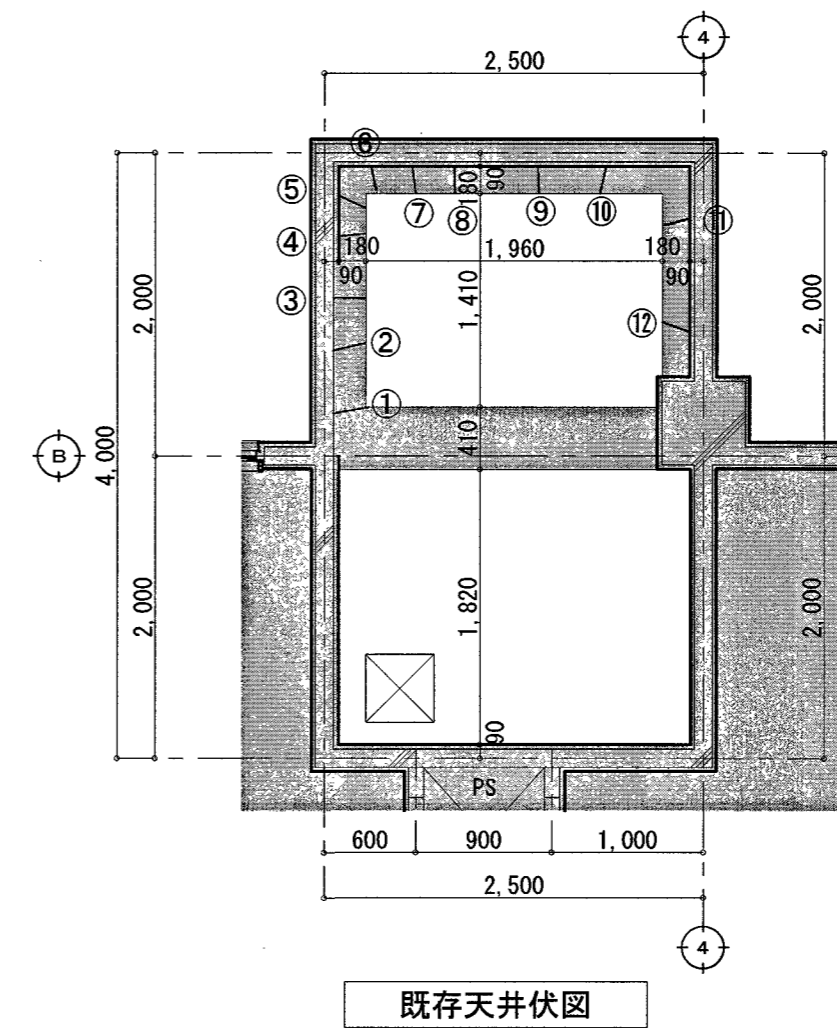
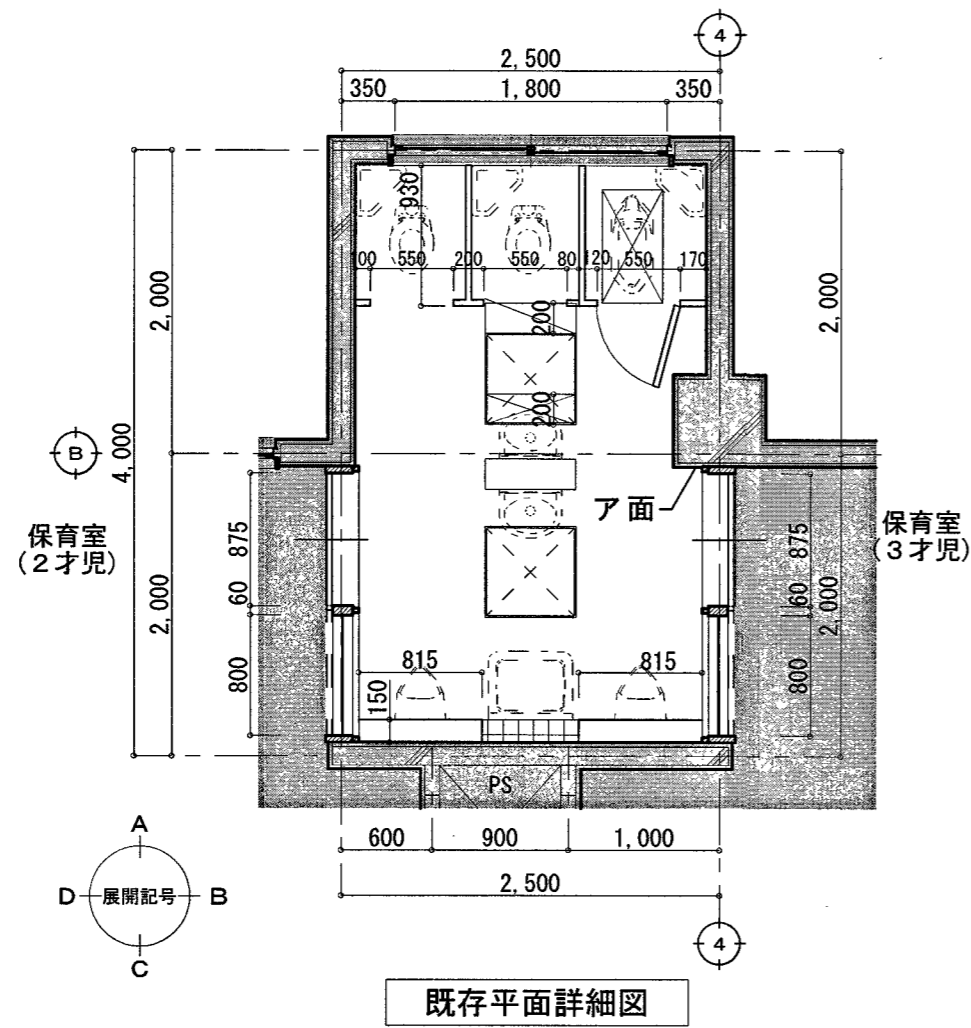
床開口閉塞 部分詳細図	S=1/20	面台 部分詳細図	S=1/20	乾式二重床 部分詳細図	S=1/5

△ シーリング SR-1 10x10 を示す
ポストフォーム: 既製品面台材 (MDF下地、メラミン化粧板表面仕上、表しとなる小口は全面R形状加工)

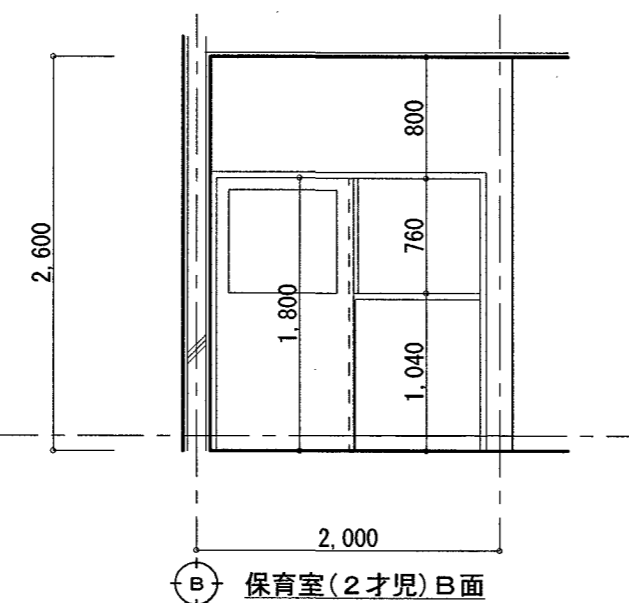
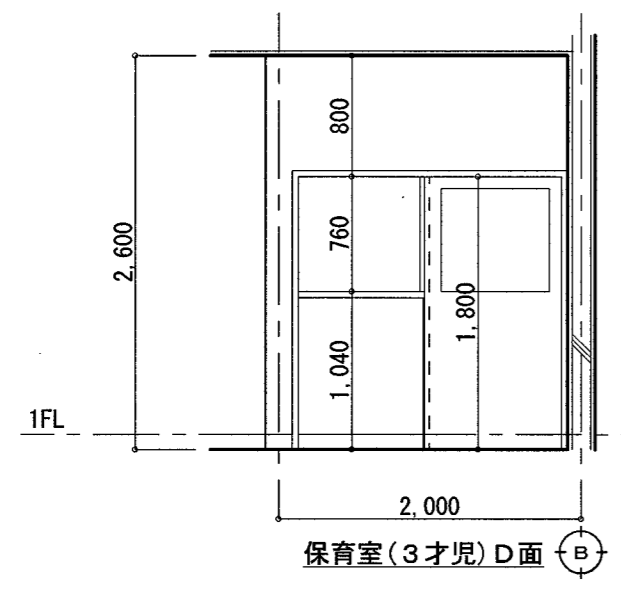
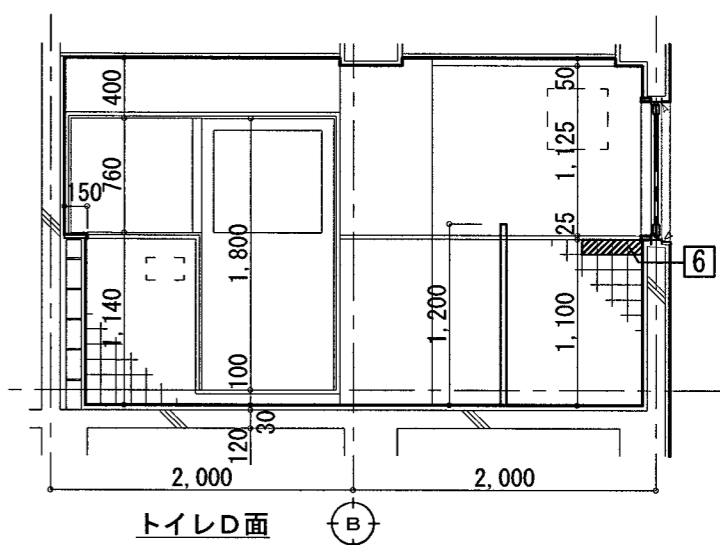
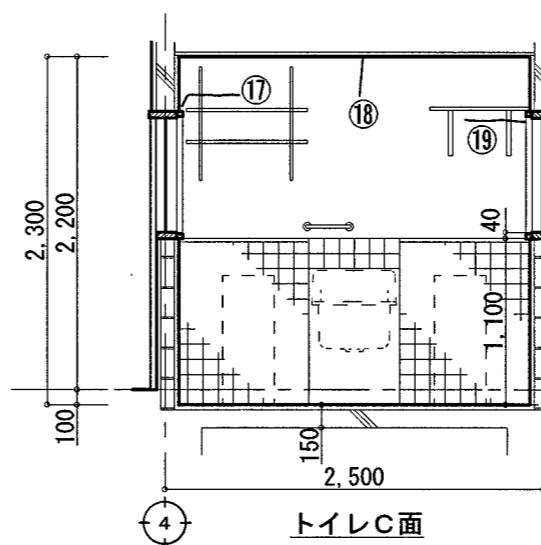
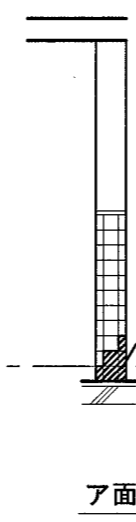
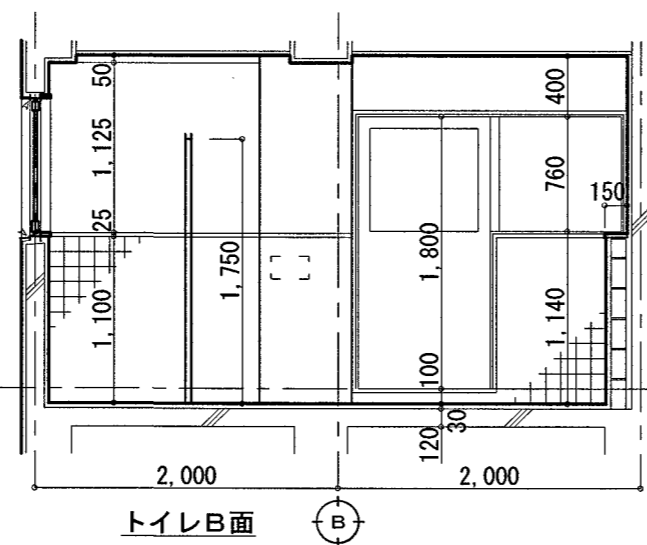
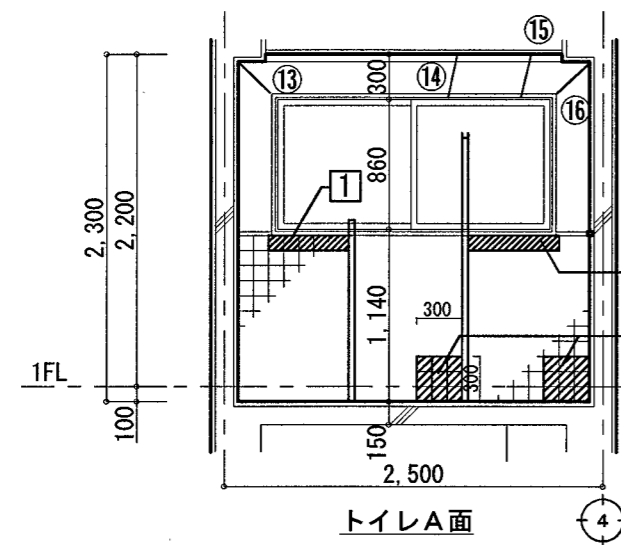
高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	神田みどり保育園 2・3歳保育室トイレ改修工事		No A-13
係	係長	課長補佐	課長	図面名	建具表・家具図・部分詳細図		
鈴木	笠岡	松本	西村	CHECKED BY	DRAWN BY	Matsumoto	図示

用紙サイズによる縮尺補正値 A2: 100% A3: 70.7%

松本琢史建築設計事務所
TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates
一級建築士大臣登録第322947号 松本 琢史



展開図



【ひび割れ 0.2mm以上1.0mm未満】

番号	幅	長さ	番号	幅	長さ	番号	幅	長さ	番号	幅	長さ
①	0.2	0.18	⑥	0.2	0.18	⑪	0.2	0.18	⑬	0.2	0.28
②	0.2	0.18	⑦	0.2	0.18	⑫	0.2	0.18	⑭	0.2	0.30
③	0.2	0.18	⑧	0.2	0.18	⑬	0.2	0.28	⑱	0.2	0.17
④	0.2	0.18	⑨	0.2	0.18	⑭	0.2	0.30	合計		3.94
⑤	0.2	0.18	⑩	0.2	0.18	⑮	0.2	0.30			

【タイル張り劣化部】

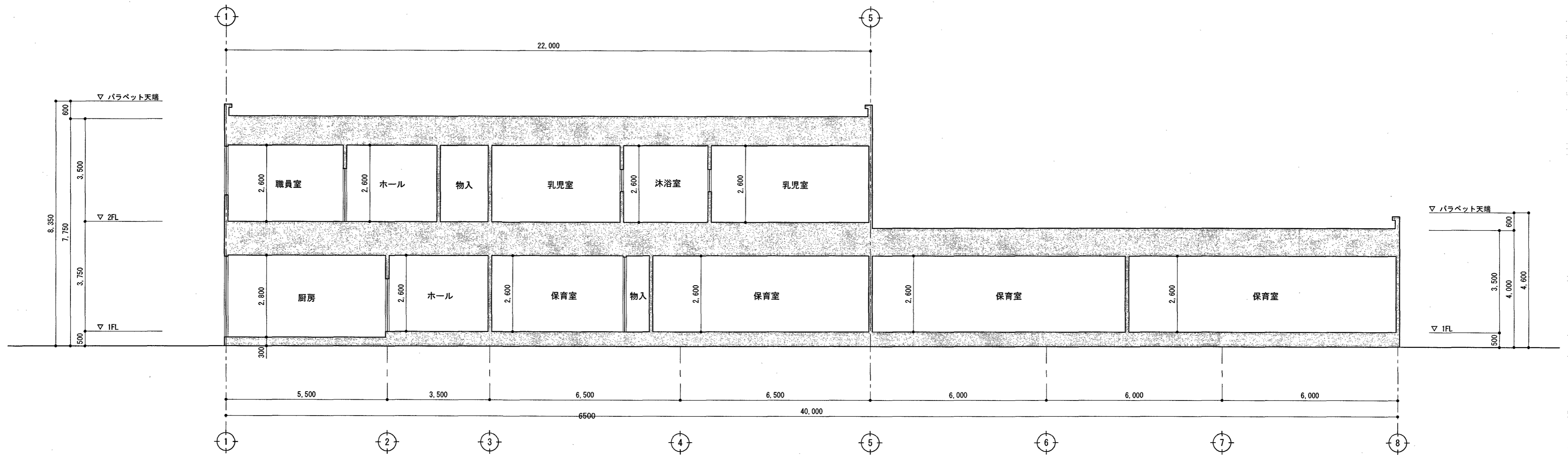
番号	寸法	面積	番号	寸法	面積
①	0.1 × 0.5	0.05	⑥	0.1 × 0.4	0.04
②	0.1 × 0.7	0.07	合計		0.4
③	0.3 × 0.3	0.09			
④	0.3 × 0.3	0.09			
⑤	0.2 × 0.3	0.06			

撤去するタイルの周囲はカッター入れを行うこと

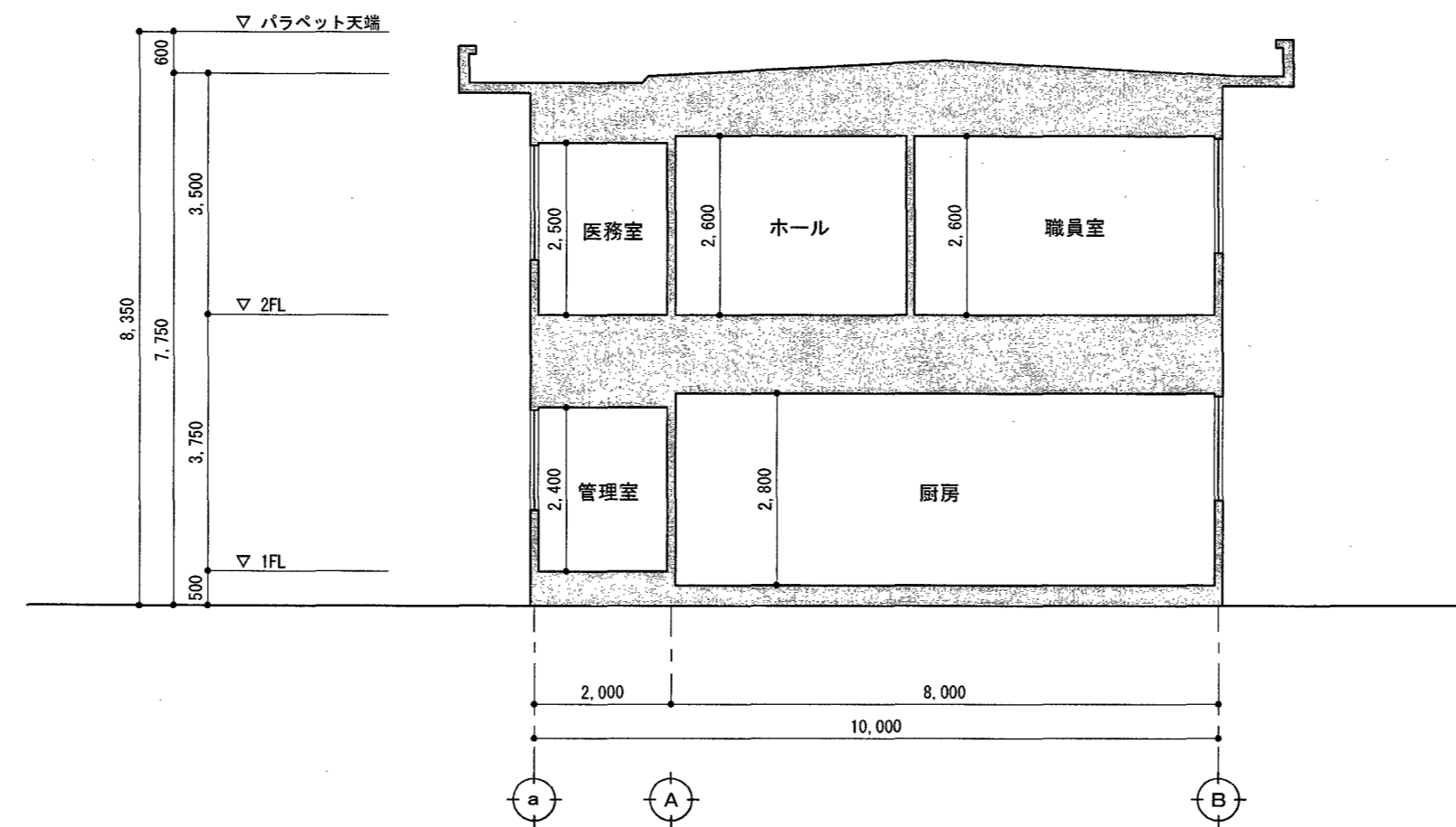
凡例		
記号	名称	数量
—	: ひび割れ (幅0.2 ~ 1.0mm 未満)	3.94m
▨	: タイル撤去モルタル補修	0.4㎡

クラック処理部分: (0.2mm以上1.0mm未満) 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法

用紙縮尺: A2-100% A3-70.7%



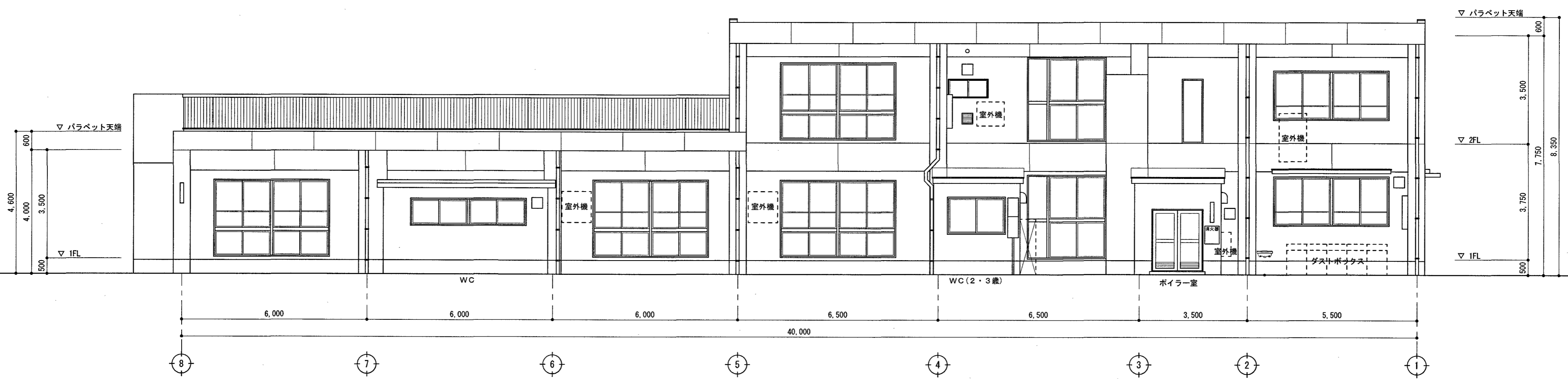
断面図 S=1/100



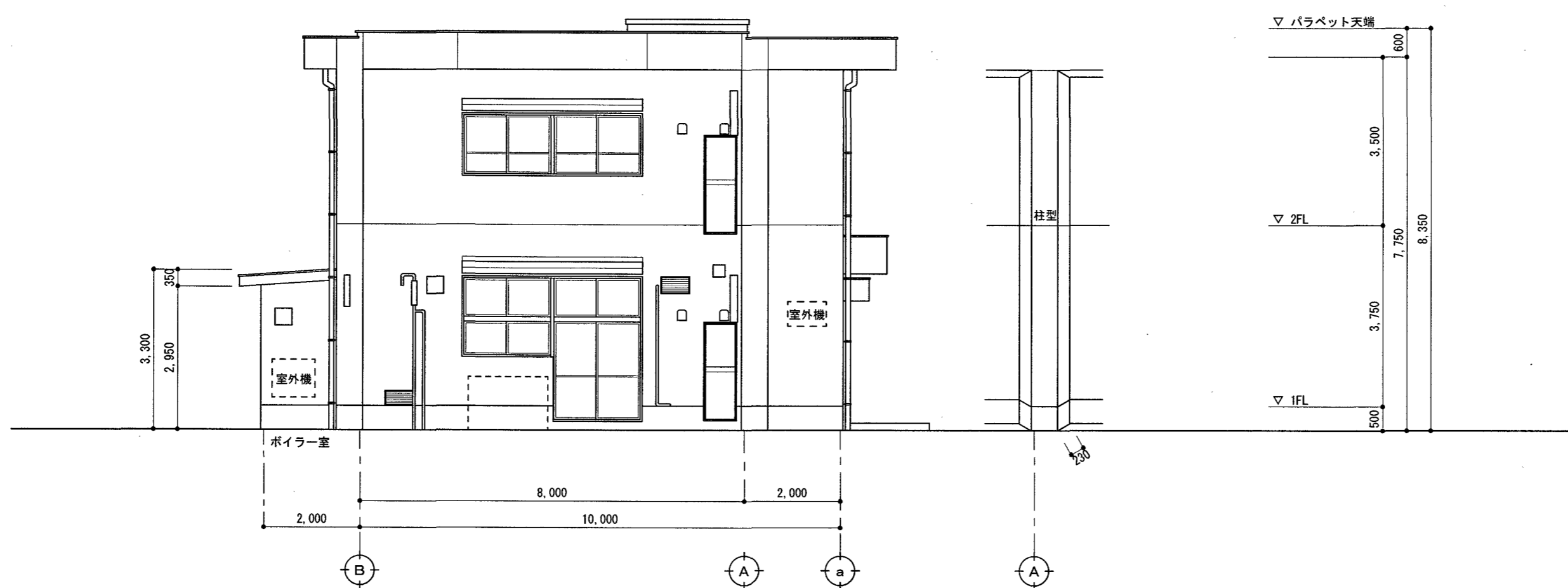
断面図 S=1/100

【参考図】

高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 神田みどり保育園2・3歳保育室トイレ改修工事			松本琢史建築設計事務所 TAKUJIMATSUMOTO Architect & Associates	NO
係	係長	課長補佐	課長	図面名 断面図【参考図】				A-15
用紙サイズによる縮尺補正値 A2: 100% A3: 70.7%				CHECKED BY	DRAWN BY	Matsumoto	SCALE	
							1/100	一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史



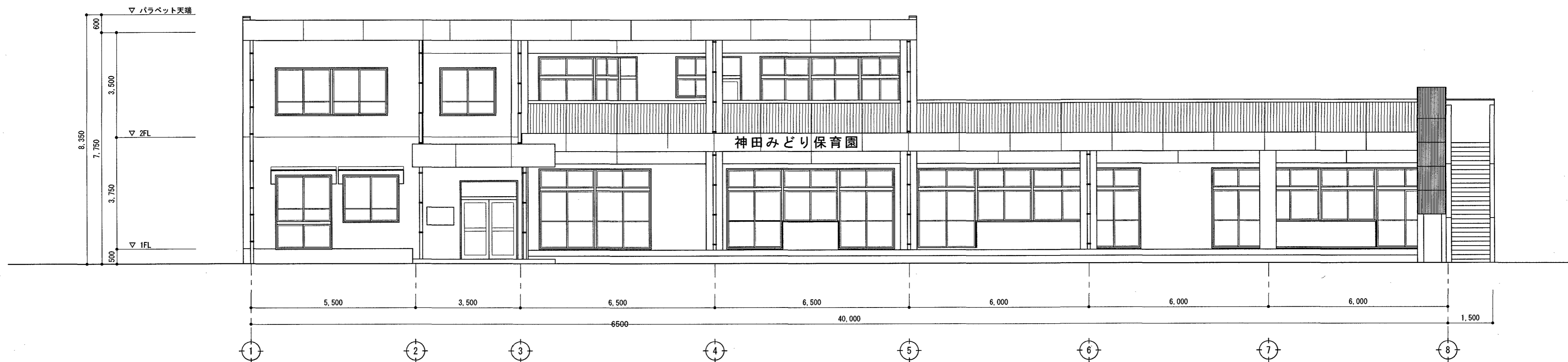
既存 北面立面図 S=1/100



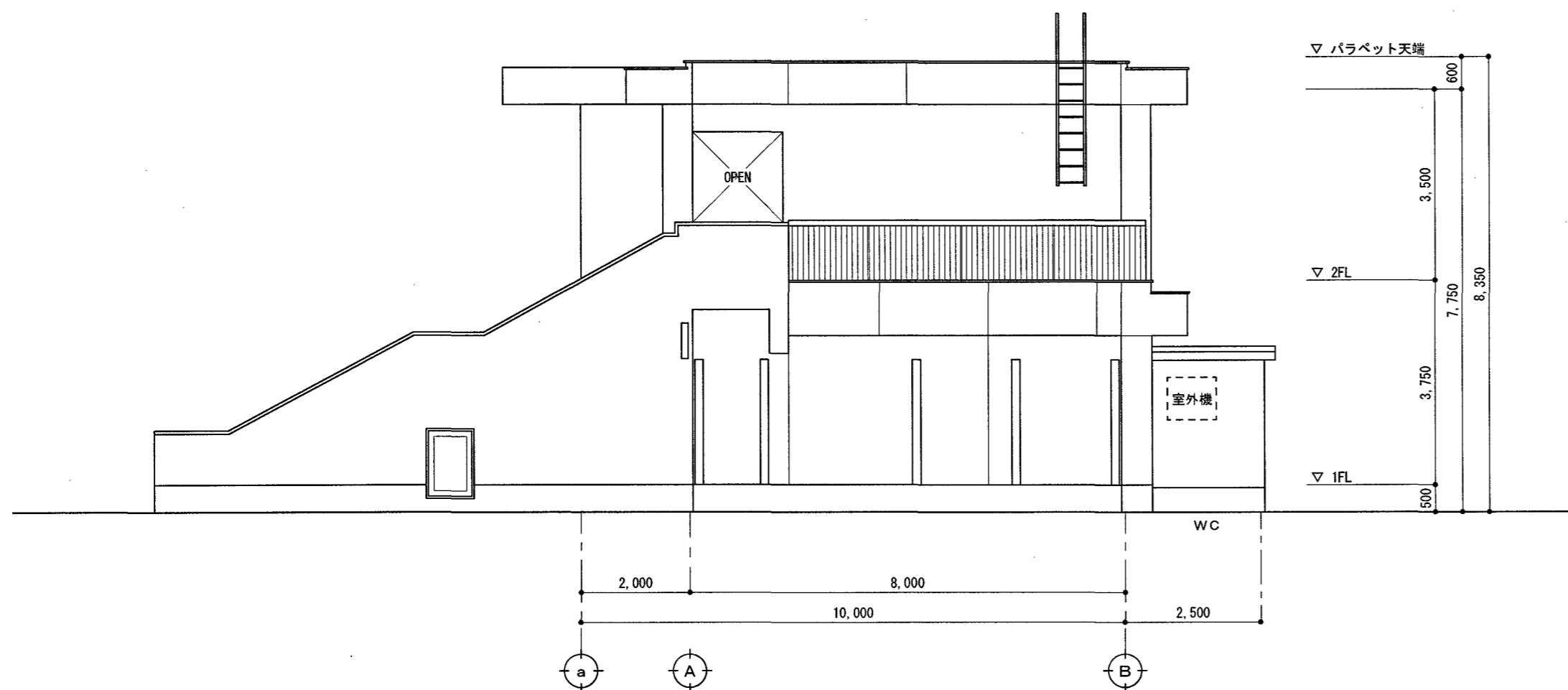
既存 西面立面図 S=1/100

【参考図】

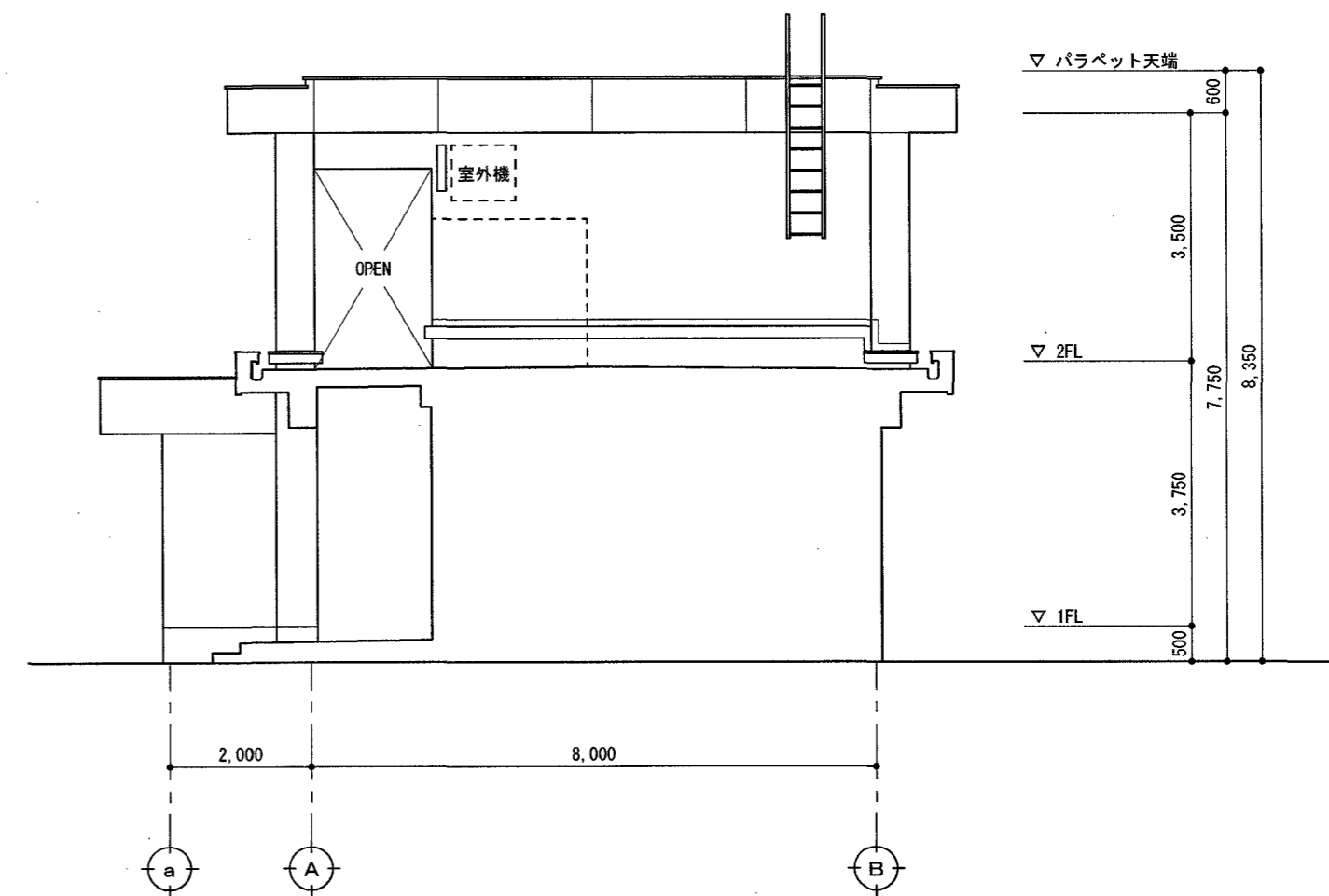
高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 神田みどり保育園2・3歳保育室トイレ改修工事		松本琢史建築設計事務所 TAKUJIMATSUMOTO Architect & Associates 一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史	NO
係	係長	課長補佐	課長	図面名 既存 立面図(1) 【参考図】			A-16
用紙サイズによる縮尺補正値 A2: 100% A3: 70.7%				CHECKED BY	DRAWN BY	Matsumoto	SCALE
							1/100



既存 南面立面図 S=1/100



既存 東面立面図 S=1/100



既存 東面立面図 S=1/100

【参考図】

高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	神田みどり保育園 2・3歳保育室トイレ改修工事		NO A-17	
係	係長	課長補佐	課長	図面名	既存 立面図 (2) 【参考図】			SCALE 1/100
用紙サイズによる縮尺補正值 A2: 100% A3: 70.7%				CHECKED BY		DRAWN BY	Matsumoto	一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史
				松本琢史建築設計事務所 TAKUJIMATSUMOTO Architect & Associates				